

注3

大学番号：国009

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

岩手大学 人文社会科学部 人間文化課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岩手大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部 戦略企画室

職名・氏名 センリヤクキカク シュサ ツツミダイスク
戦略企画グループ主査 堤 大輔

電話番号 019-621-6032

（夜間） 019-621-6032

F A X 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文社会科学部

<人間文化課程>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	33
4. 既設大学等の状況	34
5. 教員組織の状況	36
6. 留意事項等に対する履行状況等	62
7. その他全般的事項	63

<別添資料>

資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	66
資料2 岩手大学人文社会科学部総合的FD委員会規則	68

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名 岩手大学

(3) 大学の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3-18-34 (岩手県盛岡市上田3-18-8)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	イワブチ アキラ 岩瀬 明 (平成27年3月)		
学部長	ヨコヤマ ヒデノブ 横山 英信 (平成28年4月)		
課程長	サイトウ ヒロツグ 齋藤 博次 (平成28年4月)	マツオカ カズオ 松岡 和生 (平成29年4月)	課程長任期満了による変更(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文社会科学部 人間文化課程 学士(総合科学)	文学関係, 社会学・社会福祉学関係, 美術関係, 体育関係	4年	125人	3年次 6人	512人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	125人 () [-]	-	125人 () [-]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.04 倍	
志願者数	427 () [6]	-	391 () [3]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	334 () [4]	-	300 () [2]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	140 () [1]	-	141 () [2]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	132 () [1]	-	131 () [2]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.04									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	132 [1] (-)	- [-] (-)	131 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		132 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	132 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	131 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	263 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文社会科学部 人間文化課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 実践知科目 転換教育科目 技法知科目 外国語科目	基礎ゼミナール	1前	1			8 5 6	4 7 4					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(初級)	1前・後		1		2 4	1	1			兼5 兼4 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(初級)	1前・後		1			2	1			兼7 兼6 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(中級)	1前・後		1		3					兼7 兼9 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(中級)	1前・後		1		2 3		4			兼10 兼8 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(上級)	1前・後		1		1	3 2				兼6 兼7 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(上級)	1前・後		1		2 3 2		3 2			兼5 兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(初級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(初級)	1前・後		1							兼9 兼7 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(中級)	1前・後		1							兼9 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
英語コミュニケーションⅡ(中級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語コミュニケーションⅠ(上級)	1前・後		1							兼7 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(上級)	1前・後		1							兼8 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(29)
	英語基礎	1前			1						兼1	
	英語発展A	2・3前		1				1				
	英語発展B	2・3後		1				1			兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語発展C	2・3前		1			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語発展D	2・3後		1			1		1			教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	英語発展E	2・3前		1			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語発展F	2・3後		1			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語発展G	2・3前		1			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語発展H	2・3後		1			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	初級ドイツ語(入門)	1前・後		1			1 1 2		2 1 2		兼6 兼7 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	初級ドイツ語(発展)	1前・後		1			1 2 1		2 1 2		兼6 兼7 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	中級ドイツ語	1後		1			1 2		1 1			教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	初級フランス語(入門)	1前・後		1			3	2			兼5 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(29)
	初級フランス語(発展)	1前・後		1			4	2			兼3	
	中級フランス語	1後		1			1	2				
	初級ロシア語(入門)	1前		1				2			兼1	
	初級ロシア語(発展)	1前		1				1			兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	中級ロシア語	1後		1			1				兼1 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	初級中国語(入門)	1前・後		1			+				兼5 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29)
	初級中国語(発展)	1前・後		1			+				兼6 兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	中級中国語	1後		1							兼2	
	初級韓国語(入門)	1前		1			1				兼2	
	初級韓国語(発展)	1前・後		1			1				兼2	
	中級韓国語	1後		1			1				兼1	
	上級日本語A	1前		1							兼1	
	上級日本語B	1前		1							兼1	
	上級日本語C	1前		1							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	上級日本語D	1前		1							兼1	
	上級日本語E	1後		1							兼1	
	上級日本語F	1後		1							兼1	
	上級日本語G	1後		1							兼2	
	上級日本語H	1後		1							兼1	
健康・ スポーツ 科目	健康・スポーツA	1前	1				2 +				兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツB	1後		1			2 +				兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツC(シーズン)	1・2後		1							兼1 兼2	集中 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報科目	情報基礎	1前	2			3 2	1				兼13 兼11 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
学問知科目	哲学の世界	1・2前・後		2			1				兼1	
	倫理学の世界	1・2後		2							兼1	
	日本の思想と文化	1・2前・後		2		1					兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	アジアの思想と文化	1・2前		2							兼1	
	欧米の思想と文化	1・2前・後		2		1					兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29)
	日本の歴史と文化	1・2前・後		2		1					兼1 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
	アジアの歴史と文化	1・2後		2							兼1	
	欧米の歴史と文化	1・2前・後		2			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	ジェンダーの歴史と文化	1・2前		2			1					
	女性と科学の関係史	1・2後		2			1					
	大学の歴史と現在	1・2前		2							兼1	
	岩手大学ミュージアム学	1・2前		2							兼1	
	心の理解	1・2前・後		2		3	1				兼2 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	日本の文学	1・2前・後		2		1					兼1	
	言葉の世界	1・2前・後		2			1				兼1 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	中国の文学	1・2前・後		2			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
	欧米の文学	1・2後		2		1	1					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員の配置を変更(29)
	欧米の言語論	1・2前		2		1						
芸術の世界	1・2前・後		2		1					兼1		
日本語表現技術入門	1・2前		2		1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	図書館への招待	1・2後		2							兼1	
	コミュニケーションの現在	1・2後		2			1					
	心と表象	1・2前		2							兼1	
	日本事情A	1・2前		2							兼1	
	日本事情B	1・2後		2							兼1	
	英語で学ぶ日本の文化	1・2前		2							兼1	
社会 科目	市民生活と法	1・2前		2							兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	憲法	1・2前・後		2							兼5	
	経済のしくみ	1・2前・後		2							兼3	
	現代社会と経済	1・2前・後		2							兼2 兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	市民と政治	1・2前		2							兼2	
	現代政治を見る眼	1・2後		2							兼2	
	社会的人間論	1・2前・後		2			+	+			兼3 兼4 兼3	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼任教員数を変更(28)
	現代社会の社会学	1・2前・後		2			1	1			兼2 兼3	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	地域と生活	1・2前		2			1				兼1 兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	地域と社会	1・2後		2			1				兼1 兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
	対人関係の心理学	1・2前・後		2				1			兼2	
	知的財産入門	1・2前		2							兼1	集中

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
	知財ワークショップ	1・2後		2							兼1	集中		
	キャリアを考える	1・2前・後		2							兼2 兼1		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)	
	科学・技術と現代社会	1・2前		2							兼1			
	ボランティアとリーダーシップ	1・2前		2		1						集中		
	現代の諸問題	1・2前		2							兼3 兼4 兼1		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)	
	公共社会	1・2前		2							兼1			
	多文化コミュニケーションA	1・2前		2							兼1			
	多文化コミュニケーションB	1・2後		2							兼1			
	自然 & 科学 技術 科目	生命のしくみ	1・2前・後		2							兼4		
		自然のしくみ	1・2前・後		2							兼3 兼2		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		自然と数理	1・2前・後		2							兼3 兼2		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		数理のひろがり	1・2前・後		2							兼3 兼2		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		宇宙のしくみ	1・2前・後		2							兼2		
		物質の世界	1・2前・後		2							兼2		
自然と法則		1・2前・後		2							兼2 兼1		教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)	
自然と数理の世界		1・2前		2							兼1			
自然の科学		1・2前		2							兼1			
科学と技術の歴史		1・2後		2							兼1			
くらしと科学技術	1・2後		2							兼1				
科学技術	1・2前		2							兼1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境科目	「環境」を考える	1後		2							兼1	
	生活と環境	1後		2							兼1	
	都市と環境	1後		2							兼1	
	地域の環境保全を考える	1後		2							兼1	
	地球環境と社会	1後		2							兼1	
	水と環境	1後		2							兼1	
	廃棄物と環境	1後		2							兼1	
	植物栽培と環境テクノロジー	1後		2							兼1	
	森林と環境	1後		2							兼1	
	動物と環境	1後		2							兼1	
	人の暮らしと生物環境	1後		2							兼1	
	環境マネジメントと岩手大学	1後		2							兼1	
	環境の科学	1後		2							兼1	
地域関連科目	現代社会をみる視角	1・2後		2							兼1	
	岩手の研究	1・2後		2		1					兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29)
	環境マネジメント実践学	1・2前		2							兼1	
	いわて学Ⅰ	1・2前		2							兼1 集中	
	いわて学Ⅱ	1・2後		2							兼1 集中	
	宮沢賢治の世界	1・2後		2		4		1				教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員数を変更(28)
	危機管理と復興	1・2後		2		1						集中
	持続可能なコミュニティづくり実践学	1・2前		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実践 知 科 目	地域 関 連 科 目	地元の企業に学ぶESD	1・2後	2							兼1	
		地場産業・企業論	1・2前	2							兼1	集中
		三陸の研究	1・2後	2			1				兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(29)
		自然災害と社会	1・2前	2							兼1	
		東北の歴史	1・2後	2			1					
		地域を考える	1・2前	2							兼1	
		地域と国際社会	1・2後	2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
		海外研修－世界から地域を考える－	1・2前	2							兼2 兼1	集中 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
	地域 課 題 演 習 科 目	初年次自由ゼミナール	1後	1			1				兼6 兼5 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29) 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼担・兼務教員数を変更(28)
		地域課題演習A	2・3前	2							兼1	集中
		地域課題演習B	2・3後	2							兼1	集中
		地域課題演習C	2・3前	2							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)
		地域課題演習D	2・3後	2							兼1	
		地域課題演習E	2・3前	2							兼1	集中
		地域課題演習F	2・3後	2							兼1	集中
地域課題演習G		2・3前	2							兼1		
地域課題演習H	2・3後	2							兼3 兼1	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(29)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
学部共通科目	総合科学論Ⅰ	3前	2			27 25	19 21				兼21 教員の昇格のため(29)		
	総合科学論Ⅱ	3後	2			27 25	19 21				兼21 教員の昇格のため(29)		
	日韓学生の協働研修Ⅰ	2・3前		2		1	1						
	日韓学生の協働研修Ⅱ	2・3前		2		1	1						
	西部カトリック大学語学研修	2・3後		2		1	1						
	課題解決型国際研修(英語)	1・2後		2		2	2				兼1 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)		
	課題解決型国際研修(ドイツ語)	1・2後		2		2	2				兼1 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)		
	課題解決型国際研修(フランス語)	1・2後		2		2	2				兼1 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)		
課題解決型国際研修(中国語)	1・2後		2		2	2				兼1 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)			
課程科目	入課程目導	人間文化入門	1前	2		6 2 25	6 21 5		+			クラス編成の見直しにより担当教員数追加(29) 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
		人間文化研究	1後	2		7 25	5 21		+			授業内容に基づく担当教員数見直し(29)	
	課程共通科目	国際交流研修	1前		2		2 +	6 5					授業内容に基づく担当教員数見直し(29)
		国際課題研修(芸術)	2後		2		5	1		+			授業内容に基づく担当教員数見直し(28)
		日本語表現基礎	2前・後		2		2 +	1					学生の受講機会を増やすため後期にも開講。授業内容に基づく担当教員見直し(29)
		日本語読解基礎	2前・後		2		+	1		1			学生の受講機会を増やすため後期にも開講。授業内容に基づく担当教員見直し(29)
		ドイツ語基礎	2後		2		1						
		フランス語基礎	2後		2		4	2					
		ロシア語基礎	2・3後		2								
		中国語基礎	2・3後		2			1					
		韓国語基礎	2・3後		2			1					
		社会調査法	1後		2			1	1				
		人間行動論	2前		2		9 8	4 5					オムニバス 昇任により職位変更(29)
		スポーツ科学	1後		2		2	1					オムニバス
		現代文化論	2前		2		4						オムニバス
		異文化間コミュニティ論	2前		2			3					オムニバス
		芸術文化論	2前		2		5	1					オムニバス
		歴史学概論	2前		2		2 3	2 +					オムニバス 誤記入及び新規採用教員追加のため(29)
		英語圏文化論	2前		2		3 +	2 +		1			オムニバス 誤記入及び新規採用教員追加のため(29)
		ヨーロッパ語圏文化論	2前		2		3 2	4 5					オムニバス 昇任により職位変更(29)
		アジア圏文化論	2前		2		3	2					オムニバス
		絵画基礎	1前		2								兼1
	彫刻基礎	1後		2								兼1	
	工芸基礎	1後		2			1						
	デザイン基礎A	1前		2			1						
	デザイン基礎B	1後		2			1						
	書法基礎	1後		2			1	1					
ドイツ語コミュニケーション基礎	1後		2			1					兼1 ネイティブ教員に加えて日本人教員を配置することにより、より確実な文法知識に基づいたコミュニケーション能力の養成を図るため(29)		
フランス語コミュニケーション基礎	1後		2			1							
ロシア語コミュニケーション基礎	1後		2			1							
特別研究	4通		6			27 25	19 21		1			教員の昇格のため(29)	
他課程科目	地域政策入門A	1前		2								兼11 兼21 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	地域政策入門B	1前		2								兼10 兼21 授業内容に基づく担当教員数見直し(28)	
	民法(総則)Ⅰ	1前		2								兼1	
	民法(総則)Ⅱ	1後		2								兼1	
	経済学基礎Ⅰ	1前		2								兼1	
	経済学基礎Ⅱ	1後		2								兼1	
	環境政策論Ⅰ	1後		2								兼1	
	環境経済論Ⅰ	1後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
行動科学専修プログラム	社会調査実習	2前	2			4 3	1 2					兼任 兼任	兼任により職位変更(29)			
	心理学基礎実験	2後	2			4	2						受講生数多数のため兼任教員を追加(29)			
	特殊実験調査Ⅰ	3前	2			9 8	4 5						兼任により職位変更(29)			
	特殊実験調査Ⅱ	3後	2			9 8	4 5						兼任により職位変更(29)			
	行動科学方法論	3後	2			9 8	4 5				オムニバス	副	兼任により職位変更(29)			
	基礎統計学	2前		2		1										
	統計学(検定・推定)	2後		2		1										
	行動科学統計法A	2前		2			1									
	行動科学統計法B	2・3後		2		1						隔年	副			
	心理学概論	2前		2		2 1	2					オムニバス	副	心理学史の導入科目であり、学生に心理学の各領域の特徴を理解させ教育効果を高めるため、専門分野の違う複数の教員で担当する。(29)		
	実験心理学	2・3前		2		1						隔年	副			
	認知心理学	2前		2		1						隔年	副			
	人格心理学(人格心理学概論)	2・3後		2		1						隔年	副			
	臨床心理学	2・3前		2			1					隔年	副			
	社会心理学	2前		2			1					隔年	副			
	人間学	2前		2			1					隔年	副			
	認知情報学	2前		2		1						隔年	副			
	心理・社会言語学	2後		2		1						隔年	副			
	社会学概論	2前		2		1						隔年	副			
	家族社会学	2前		2		1						隔年	副			
	地域社会学	2後		2			1					隔年	副			
	社会情報システム論	2前		2		1						隔年	副			
	ソーシャルデザイン論	2後		2		1	1					隔年	副	兼任により職位変更(29)		
	行動地理学	2・3前		2		1						隔年	副			
プログラム展開科目	実験心理学特講(学習心理学概論)	3・4後		2		1							隔年	副		
	実験心理学演習A	3・4前		2		1							隔年	副		
	実験心理学演習B	3・4後		2		1							隔年	副		
	認知心理学特講	3後		2		1							隔年	副		
	認知心理学演習A	3前		2		1							隔年	副		
	認知心理学演習B	3後		2		1							隔年	副		
	人格心理学特講	3・4後		2		1							隔年	副		
	人格心理学演習A	3・4前		2		1							隔年	副		
	人格心理学演習B	3・4後		2		1							隔年	副		
	臨床心理学実習	3・4前		2		1							隔年	副		
	臨床心理学特講	3・4前		2			1						隔年	副		
	臨床心理学演習A	3・4後		2			1						隔年	副		
	臨床心理学演習B	3・4後		2			1						隔年	副		
	心理検査法実習	3・4前		2		2	1						隔年	副		
	社会心理学特講	3・4後		2			1						隔年	副		
	犯罪社会心理学	3・4後		2			1						隔年	副		
	社会心理学演習A	3前		2			1						隔年	副		
	社会心理学演習B	3・4後		2			1						隔年	副		
	犯罪心理学演習	3・4後		2			1						隔年	副		
	基礎心理学	3・4前		2								兼任	集中	隔年	副	
	応用心理学	3・4前		2								兼任	集中	隔年	副	
	文化心理学	3・4後		2								兼任	集中	隔年	副	
	文化人類学	3・4後		2								兼任	集中	隔年	副	
	心理療法論	3・4後		2								兼任	集中	隔年	副	
	心理学通論	3・4前		2								兼任		隔年	副	
	生理学特講	3・4前		2								兼任		隔年	副	
	人間学特講A	3・4後		2			1							隔年	副	
	人間学特講B	3・4後		2			1							隔年	副	
	人間学演習A	3前		2			1							隔年	副	
	人間学演習B	3・4後		2			1							隔年	副	
	人間学演習C	3・4後		2			1							隔年	副	
	認知情報学特講	3前		2			1							隔年	副	
	認知情報学演習	3・4後		2			1							隔年	副	

一般言語学	3前	2	1							副
言語学演習A	3後	2	1					※1		副
言語学演習B	4前	2	1					※1		副
応用倫理学	3後	2					兼1			副
論理学	2・3後	2					兼1	集中	隔年	副
社会調査特講	3前	2	1	1						副
家族社会学特講A	3・4後	2	1						隔年	副
家族社会学特講B	3・4後	2	1						隔年	副
家族社会学演習A	3前	2	1					※1		副
家族社会学演習B	3後	2	1					※1		副
地域社会学特講A	3・4前	2		1					隔年	副
地域社会学特講B	3・4前	2		1					隔年	副
地域社会学演習A	3前	2		1				※1		副
地域社会学演習B	3後	2		1				※1		副
現代社会論	3後	2					兼1	集中		副
社会情報システム論特講	3後	2	1							副
地理情報システム論A	3前	2	1							副
地理情報システム論B	3後	2	1							副
ソーシャルデザイン論特講	3前	2	1	±				※実習		副
ソーシャルデザイン論演習A	3前	2	1	±				※1		副
ソーシャルデザイン論演習B	3後	2	1	±				※1		副
社会情報学特講A	3・4前	2					兼1	集中	隔年	副
社会情報学特講B	3・4後	2					兼1	集中	隔年	副
地域分析	3・4前	2	1						隔年	副
人口地理学	3・4後	2	1						隔年	副
社会地理学	3・4後	2	1						隔年	副
人文地理学演習A	3前	2	1					※1		副
人文地理学演習B	3後	2	1					※1		副

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スポーツ科学専修プログラム	スポーツ文化論	2前		2		1						副	
	スポーツプロデュース論	2後		2		1						副	
	スポーツ行動論	2前		2			1					副	
	社会学概論	2前		2		1					兼1	専任教員が担当 (29)	
	心理学概論	2前		2		2	2				オムニバス	専任教員がオムニバス形式で担当 (29)	
	健康運動論	2後		2		1						副	
	健康管理論	2後	2								兼1	副	
	健康づくり運動論	2前	2								兼1	副	
	健康づくり運動実習	2後	2								兼1	副	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	2前	1			2	1				オムニバス	副	
	健康スポーツ指導法Ⅱ	2後	1			2	1				オムニバス	副	
	スポーツ科学方法論	3前	2			2	1				オムニバス	副	
	スポーツ科学実験・実習	2後	2			2	1				兼2	オムニバス	副
	地域スポーツコーディネート実習	3前		2		1						集中	副
スポーツ社会調査実習	3後		2		1							副	
プログラム展開科目	スポーツ行動論演習A	3前		2			1					副	
	スポーツ行動論演習B	3後		2			1					副	
	健康運動論演習A	3前		2		1						副	
	健康運動論演習B	3後		2		1						副	
	スポーツプロデュース演習A	3前		2		1						副	
	スポーツプロデュース演習B	3後		2		1						副	
	健康障害と予防	3後	2								兼2	オムニバス	副
	運動生理学	3前		2							兼1	副	
	スポーツ心理学	3後		2			1					副	
	スポーツNPO論	3・4後		2		1						隔年	副
	コーチング論	3後		2							兼1	副	
	バイオメカニクス	3前		2							兼1	副	
	スポーツと栄養	3・4前		2		1					兼1	隔年	専任教員が担当 (29)
	スポーツ政策論	3・4後		2							兼1	隔年	副
	健康運動処方論	3前		2		1						副	
	生理学特講	3・4前		2							兼1	隔年	副
	現代社会論	3後		2							兼1	集中	副
地域分析	3・4前		2		1					兼1	隔年	専任教員が担当 (29)	
文化人類学	3・4後		2							兼1	集中	隔年	
スポーツトレーナー実習	3後		2		1					兼1	集中	副	

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
現代文化専修プログラム	文化事象探究A	2・3後	1			4						隔年		
	文化事象探究B	3・4前	1			4						隔年		
	文化事象探究C	2・3後	1			4						隔年		
	文化事象探究D	3・4前	1			4						隔年		
	社会文化思想論Ⅰ	2・3前		2		+				兼1	※1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論Ⅱ	2・3後		2		+				兼1	※1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論Ⅲ	2・3前		2		+				兼1	※1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論Ⅳ	2・3後		2		+				兼1	※1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	表象文化論A	2・3前		2		1					※2	隔年	副	
	表象文化論B	2・3後		2		1					※2	隔年	副	
	表象文化論C	2・3前		2		1					※2	隔年	副	
	表象文化論D	2・3後		2		1					※2	隔年	副	
	文化記号論Ⅰ	2・3前		2		1					※3	隔年	副	
	文化記号論Ⅱ	2・3後		2		1					※3	隔年	副	
	文化記号論Ⅲ	2・3前		2		1					※3	隔年	副	
	文化記号論Ⅳ	2・3後		2		1					※3	隔年	副	
	美学芸術学入門	2前		2		1					※4	副		
音楽文化史A	2前		2		1					※4	副			
音楽文化史B	2後		2		1					※4	副			
プログラム展開科目	社会文化思想論特講A	2・3後		2		+				兼1	※5	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論特講B	3前		2		+				兼1	※5	副		完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	消費文化論特講	2・3後		2		+				兼1	※5	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	表象文化論特講A	2・3後		2		1					※6	隔年	副	
	表象文化論特講B	3・4前		2		1					※6	隔年	副	
	比較文学論特講A	2・3前 2・3後		2		1					※6	隔年	副	担当教員長期研修のため前期開講(29)
	比較文学論特講B	3・4前		2		1					※6	隔年	副	
	芸術文化論特講A	2・3後		2		1					※7	隔年	副	
	芸術文化論特講B	3・4前		2		1					※7	隔年	副	
	音楽文化論特講A	2・3後		2		1					※7	隔年	副	
	音楽文化論特講B	3・4前		2		1					※7	隔年	副	
	ソーシャルデザイン論	2後		2		1		+			※8	副		昇任により職位変更(29)
	ソーシャルデザイン論特講	3前		2		1		+			※8	副		昇任により職位変更(29)
	メディア文化論特講A	2後		2		1				兼5	※8	副		オムニバス
	メディア文化論特講B	3前		2		1				兼2	※8	副		オムニバス
	現代文化特講A	2後		2						兼1	※9	副		集中
	現代文化特講B	3前		2						兼1	※9	副		集中
	社会文化思想論演習A	3・4前		2		+				兼1	※10	隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論演習B	3・4後		2		+				兼1	※10	隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論演習C	3・4前		2		+				兼1	※10	隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論演習D	3・4後		2		+				兼1	※10	隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	表象文化論演習A	3・4前		2		1					※11	隔年		
	表象文化論演習B	3・4後		2		1					※11	隔年		
	表象文化論演習C	3・4前		2		1					※11	隔年		
	表象文化論演習D	3・4後		2		1					※11	隔年		
	文化記号論演習A	3・4前		2		1					※12	隔年		
	文化記号論演習B	3・4後		2		1					※12	隔年		
	文化記号論演習C	3・4前		2		1					※12	隔年		
	文化記号論演習D	3・4後		2		1					※12	隔年		
芸術文化論演習A	3・4前		2		1					※13	隔年			
芸術文化論演習B	3・4後		2		1					※13	隔年			
芸術文化論演習C	3・4前		2		1					※13	隔年			
芸術文化論演習D	3・4後		2		1					※13	隔年			
ソーシャルデザイン論演習A	3前		2		1		+			※14	副		昇任により職位変更(29)	
ソーシャルデザイン論演習B	3後		2		1		+			※14	副		昇任により職位変更(29)	
応用倫理学	3後		2						兼1		副			
著作権概論	2・3後		2		1				兼1	兼1	隔年		専任教員が担当(29)	

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手			
異文化間コミュニケーション専修プログラム	ジェンダー論A	2・3後		2			1				※1	隔年	副	
	ジェンダー論B	2・3前		2			1				※1	隔年	副	
	ジェンダー論C	2・3・4後		2			1				※1	3年に1回	副	
	ジェンダー論D	2・3・4後		2			1				※1	3年に1回	副	
	ジェンダー論E	2・3・4後		2			1				※1	3年に1回	副	
	複合エスニシティ論A	2・3前		2			1				※2	隔年	副	
	複合エスニシティ論B	2・3後		2			1				※2	隔年	副	
	複合エスニシティ論C	2・3前		2			1				※2	隔年	副	
	複合エスニシティ論D	2・3後		2			1				※2	隔年	副	
	異文化コミュニケーション論A	2・3前		2			1				※3	隔年	副	
	異文化コミュニケーション論B	2・3後		2			1				※3	隔年	副	
	異文化コミュニケーション論C	2・3前		2			1				※3	隔年	副	
	異文化コミュニケーション論D	2・3後		2			1				※3	隔年	副	
	文化記号論II	2・3後		2			1					隔年	副	
	文化記号論III	2・3前		2			1					隔年	副	
	日本史講義B	2・3後		2			1					隔年	副	
	日本思想史講義B	2・3後		2			1					隔年	副	
	日本思想史講義D	2・3後		2			1					隔年	副	
	アジア史講義A	2・3前		2				1				隔年	副	
	アジア史講義B	2・3前		2				1				隔年	副	
	西洋史講義A	2・3・4前		2				1			兼1	3年に1回	副	教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施(29)
	西洋史講義B	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	西洋史講義C	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	ドイツ語学講義A	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ語学講義B	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ語学講義C	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ文学講義A	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	ドイツ文学講義B	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	フランス文化論講義 B	2・3前		2				1				隔年	副	
	フランス文化論講義 C	2・3前		2				1				隔年	副	
	ロシア語学講義A	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	ロシア語学講義B	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	ロシア語学講義C	2・3・4前		2				1				3年に1回	副	
	英米文化論講義G	2・3後		2			1					隔年	副	
	英米文化論講義H	2・3後		2			1					隔年	副	
	英米文学講義B	2・3前		2			1					隔年	副	
	言語習得論B	2後		2			1					隔年	副	
	日本文学講義IV	2・3後		2			1					隔年	副	
	日本語学講義A	2・3前		2				1				隔年	副	
	中国思想史講義II	2・3後		2							兼1	隔年	副	
	中国語学講義D	3・4後		2				1				隔年	副	
	社会学概論	2前		2			1					隔年	副	
	行動科学統計法B	2・3後		2			1					隔年	副	
	人格心理学(人格心理学概論)	2・3後		2			1					隔年	副	
	臨床心理学	2・3前		2				1				隔年	副	
人間学	2前		2				1				隔年	副		
家族社会学	2前		2			1					隔年	副		
民法(家族法)I	2・3前		2							兼1	隔年			
民法(家族法)II	2・3後		2							兼1	隔年			
社会保障論I	2前		2							兼1				
社会保障論II	2後		2							兼1				
環境文化論I	2前		2							兼1				
環境文化論II	2後		2							兼1				
国際開発と環境・貧困	2・3後		2							兼1				

プログラム 展開科目	ジェンダー論特講A	3・4前	2		1		※4	隔年	副		
	ジェンダー論特講B	3・4後	2		1		※4	隔年	副		
	ジェンダー論特講C	3・4前	2		1		※4	隔年	副		
	ジェンダー論特講D	3・4後	2		1		※4	隔年	副		
	複合エスニシティ論特講A	3・4前	2		1		※5	隔年	副		
	複合エスニシティ論特講B	3・4後	2		1		※5	隔年	副		
	複合エスニシティ論特講C	3・4前	2		1		※5	隔年	副		
	複合エスニシティ論特講D	3・4後	2		1		※5	隔年	副		
	異文化コミュニケーション論特講A	3・4前	2		1		※6	隔年	副		
	異文化コミュニケーション論特講B	3・4後	2		1		※6	隔年	副		
	異文化コミュニケーション論特講C	3・4前	2		1		※6	隔年	副		
	異文化コミュニケーション論特講D	3・4後	2		1		※6	隔年	副		
	ジェンダー論演習A	3・4前	2		1				隔年		
	ジェンダー論演習B	3・4後	2		1				隔年		
	ジェンダー論演習C	3・4前	2		1				隔年		
	ジェンダー論演習D	3・4後	2		1				隔年		
	複合エスニシティ論演習A	3・4前	2		1				隔年		
	複合エスニシティ論演習B	3・4後	2		1				隔年		
	複合エスニシティ論演習C	3・4前	2		1				隔年		
	複合エスニシティ論演習D	3・4後	2		1				隔年		
	異文化コミュニケーション論演習A	3・4前	2		1				隔年		
	異文化コミュニケーション論演習B	3・4後	2		1				隔年		
	異文化コミュニケーション論演習C	3・4前	2		1				隔年		
	異文化コミュニケーション論演習D	3・4後	2		2				隔年		
	社会文化思想論特講A	2・3後	2		+			兼1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	社会文化思想論特講B	3前	2		+			兼1		副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	消費文化論特講	2・3後	2		+			兼1	隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
	メディア文化論特講A	2後	2		1			兼5	オムニバス	副	
	メディア文化論特講B	3前	2		1			兼2		副	
	現代文化特講A	2後	2					兼1	集中	副	
	現代文化特講B	3前	2					兼1	集中	副	
	芸術文化論特講 B	3・4前	2		1				隔年	副	
	音楽文化論特講 B	3・4前	2		1				隔年	副	
	西洋史特講A	2・3・4後	2			1			3年に1回	副	
	西洋史特講B	2・3・4後	2			1			3年に1回	副	
	西洋史特講C	2・3・4後	2			1		兼1	3年に1回	副	教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施(29)
文化心理学	3・4後	2					兼1	集中	隔年	副	
文化人類学	3・4後	2					兼1	集中	隔年	副	
人間学特講A	3・4後	2			1			隔年	副		
応用倫理学	3後	2					兼1		副		
家族社会学特講A	3・4後	2		1				隔年	副		
家族社会学特講B	3・4後	2		1				隔年	副		
地域社会学特講B	3・4前	2			1			隔年	副		
スポーツNPO論	3・4後	2		1				隔年	副		
環境思想史	3・4前	2					兼1	隔年	副		

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
歴史専修プログラム プログラム 基礎科目	歴史資料論	2・3後	2			2	2					オムニバス 隔年 副	誤記入及び新規採用教員を追加(29)	
	史学史	2・3後	2			2	2					オムニバス 隔年 副	誤記入及び新規採用教員を追加(29)	
	日本史講義A	2・3前		2		1							隔年 副	
	日本史講義B	2・3前 2・3後		2		1							隔年 副	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)
	日本思想史講義A	2・3前		2		1							隔年 副	
	日本思想史講義B	2・3後		2		1							隔年 副	
	日本思想史講義C	2・3前		2		1							隔年 副	
	日本思想史講義D	2・3後		2		1							隔年 副	
	アジア史講義A	2・3前		2			1						隔年 副	
	アジア史講義B	2・3前		2			1						隔年 副	
	アジア史講読A	2・3・4前		2			1						3年に1回 副	
	アジア史講読B	2・3・4後		2			1						3年に1回 副	
	アジア史講読C	2・3・4前		2			1						3年に1回 副	
	アジア史講読D	2・3・4後		2			1						3年に1回 副	
	西洋史講義A	2・3・4前		2			1				兼1		3年に1回 副	教育内容を充実させるに め、兼任教員を加えて実 施(29)
	西洋史講義B	2・3・4前		2			1						3年に1回 副	
	西洋史講義C	2・3・4前		2			1						3年に1回 副	
	社会文化思想論Ⅰ	2・3前		2			+				兼1		隔年 副	完成年度前に定年退職す る教員が担当するため修 正(29)
	社会文化思想論Ⅱ	2・3後		2			+				兼1		隔年 副	完成年度前に定年退職す る教員が担当するため修 正(29)
	社会文化思想論Ⅲ	2・3前		2			+				兼1		隔年 副	完成年度前に定年退職す る教員が担当するため修 正(29)
	社会文化思想論Ⅳ	2・3後		2			+				兼1		隔年 副	完成年度前に定年退職す る教員が担当するため修 正(29)
	漢文	2・3前		2							兼1	集中	隔年	
	ギリシャ語	2・3前		2			1						隔年	
	ラテン語	2・3前		2			1						隔年	
	総合英語A	2前		2			1							
	総合英語B	2後		2			1							
	総合ドイツ語A	2・3・4前		2							兼1		3年に1回	
	総合ドイツ語B	2・3・4前		2							兼1		3年に1回	
	総合ドイツ語C	2・3・4前		2							兼1		3年に1回	
	総合フランス語A	2・3・4前		2			1						3年に1回	
	総合フランス語B	2・3・4前		2			1						3年に1回	
	総合フランス語C	2・3・4前		2			1						3年に1回	
	総合ロシア語	2前		2				+			兼1			日本人教員からロシア語 ネイティブ教員に変更する ことにより教育的効果が高 まる。(29)
	考古学講義A	2前		2							兼1		副	
	考古学講義B	2後		2							兼1		副	
	中国思想史講義Ⅰ	2・3前		2							兼1		隔年	
	中国思想史講義Ⅱ	2・3後		2							兼1		隔年	
	表象文化論A	2・3前		2			1						隔年	
	表象文化論B	2・3後		2			1						隔年	
	ジェンダー論D	2・3・4後		2				1					3年に1回	
	ジェンダー論E	2・3・4後		2				1					3年に1回	
	複合エスニシティ論B	2・3後		2				1					隔年	
	複合エスニシティ論C	2・3前		2				1					隔年	
	日本文学講義Ⅰ	2・3前		2			1						隔年	
	日本文学講義Ⅱ	2・3後		2			1						隔年	
日本文学講義Ⅲ	2・3前		2			1						隔年		
日本文学講義Ⅳ	2・3後		2			1						隔年		
日本語学講義A	2・3前		2				1					隔年		
日本古典講読Ⅰ	2・3・4前		2			1						3年に1回		
日本古典講読Ⅱ	2・3・4後		2			1						3年に1回		
ドイツ文学講義A	2・3・4前		2				1					3年に1回		
ドイツ文学講義B	2・3・4前		2				1					3年に1回		
ドイツ文学講義C	2・3・4前		2				1					3年に1回		
フランス文学講義A	2・3・4前		2				1					3年に1回		
フランス文学講義B	2・3・4前		2				1					3年に1回		
フランス文化論講義B	2・3前		2				1					隔年		
フランス文化論講義C	2・3前		2				1					隔年		

	音楽文化史A	2前	2	1									
	音楽文化史B	2後	2	1									
	書道史	2・3前	2	1	1					隔年			
	美学芸術学入門	2前	2	1									
	基礎法A	2・3前	2						兼1	隔年			
	基礎法B	2・3後	2						兼1	隔年			
プログラム 展開科目	日本史特講A	2・3・4後 2・3後	2	1						3年に1回 隔年	副	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)	
	日本史特講B	2・3・4後 2・3後	2	1						3年に1回 隔年	副	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)	
	日本史特講C	2・3・4後 2・3後	2	1						3年に1回 隔年	副	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)	
	日本史特講D	2・3・4後	2					兼1	集中	3年に1回	副		
	日本史講読A	3・4前	2	1						隔年	副		
	日本史講読B	2・3後	2	1						隔年	副		
	日本史講読C	3・4前	2	1						隔年	副		
	日本史講読D	2・3後	2	1						隔年	副		
	日本史演習Ⅰ	3前	2	1					※1		副		
	日本史演習Ⅱ	3後	2	1					※1		副		
	日本史演習Ⅲ	4前	2	1					※1	※1から 4単位を 選択			
	日本史演習Ⅳ	4後	2	1					※1				
	日本思想史特講A	3・4前	2	1							隔年	副	
	日本思想史特講B	3・4後	2	1							隔年	副	
	日本思想史特講C	2・3前 2・3後	2					兼1	集中	隔年	副	集中講義を夏季休業中に開講することにより、学生の履修機会を増やすため。(29)	
	日本思想史講読Ⅰ	3・4前	2	1							隔年	副	
	日本思想史講読Ⅱ	3・4後	2	1							隔年	副	
	日本思想史演習Ⅰ	3・4前	2	1					※1		隔年	副	
	日本思想史演習Ⅱ	3・4後	2	1					※1		隔年	副	
	日本思想史演習Ⅲ	3・4前	2	1					※1		隔年	副	
	日本思想史演習Ⅳ	3・4後	2	1					※1		隔年	副	
	アジア史特講A	2・3・4後	2		1						3年に1回	副	
	アジア史特講B	2・3・4後	2		1						3年に1回	副	
	アジア史特講C	2・3・4後	2		1						3年に1回	副	
	アジア史特講D	3・4前	2					兼1	集中	隔年	副		
	アジア史特講E	2・3・4後	2					兼1	集中	3年に1回	副		
	アジア史演習A	3・4前	2	1					※1		隔年	副	
	アジア史演習B	3・4後	2	1					※1		隔年	副	
	アジア史演習C	3・4前	2	1					※1		隔年	副	
	アジア史演習D	3・4後	2	1					※1		隔年	副	
	西洋史特講A	2・3・4後	2		1						3年に1回	副	
	西洋史特講B	2・3・4後	2		1						3年に1回	副	
	西洋史特講C	2・3・4後	2		1			兼1			3年に1回	副	教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施(29)
西洋史講読A	2・3・4後	2		1						3年に1回	副		
西洋史講読B	3・4前	2		1						隔年	副		
西洋史講読C	2・3・4後	2		1						3年に1回	副		
西洋史講読D	3・4前	2		1						隔年	副		
西洋史講読E	2・3・4後	2		1						3年に1回	副		
西洋史演習A	3・4前	2		1				※1		隔年	副		
西洋史演習B	3・4後	2		1				※1		隔年	副		
西洋史演習C	3・4前	2		1				※1		隔年	副		
西洋史演習D	3・4後	2		1				※1		隔年	副		
社会文化思想論特講A	2・3後	2		+			兼1			隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
社会文化思想論特講B	3前	2		+			兼1				副	完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
社会文化思想論演習A	3・4前	2		+			兼1	※1		隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
社会文化思想論演習B	3・4後	2		+			兼1	※1		隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
社会文化思想論演習C	3・4前	2		+			兼1	※1		隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
社会文化思想論演習D	3・4後	2		+			兼1	※1		隔年		完成年度前に定年退職する教員が担当するため修正(29)	
考古学各論A	3・4前	2					兼1			隔年	副		
考古学各論B	3・4後	2					兼1			隔年	副		
中国思想史特講A	3・4前	2					兼1			隔年			

	中国思想史特講B	3・4後	2					兼1	隔年
	家族社会学特講A	3・4後	2	1					隔年
	美術史 I	3前	2					兼1	
	美術史 II	4前	2					兼1	
	中国語学演習C	3・4前	2		1				隔年
	環境思想史	3・4前	2					兼1	隔年
	日本経済史	3・4前	2					兼1	隔年
	西洋経済史	3・4前	2					兼1	隔年

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術文化専修プログラム	プロジェクト実践演習（基礎）	2後	2			5	1					オムニバス
	美学芸術学入門	2前		2		1						この中から2単位を選択必修
	デザイン論	2前		2		1					副	
	色彩演習	2後		2		1						副
	美術史入門	2前		2								副
	書道史	2・3前		2		1	1					隔年 副
	音楽文化史A	2前		2		1						副
	音楽文化史B	2後		2		1						副
	音楽理論Ⅰ	2前		2								副
	音楽理論Ⅱ	2後		2								副
	造形実習（絵画）A	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（絵画）B	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（絵画）C	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（絵画）D	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（絵画）E	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（絵画）F	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）A	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）B	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）C	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）D	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）E	2・3・4前		1								3年に1回 副
	造形実習（彫刻）F	2・3・4後		1								3年に1回 副
	造形実習（版画）Ⅰ	2前		1								副
	造形実習（版画）Ⅱ	2後		1								副
	造形実習（デザイン）A	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（デザイン）B	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（デザイン）C	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（デザイン）D	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（デザイン）E	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（デザイン）F	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）A	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）B	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）C	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）D	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）E	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（金工）F	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（窯芸）Ⅰ	2前		1								副
	造形実習（窯芸）Ⅱ	2後		1								副
	造形実習（染織）Ⅰ	2前		1								副
	造形実習（染織）Ⅱ	2後		1								副
	造形実習（視覚文化）A	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（視覚文化）B	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（視覚文化）C	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（視覚文化）D	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（視覚文化）E	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（視覚文化）F	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（中国書法）A	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（中国書法）B	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
	造形実習（中国書法）C	2・3・4前		1		1						3年に1回 副
	造形実習（中国書法）D	2・3・4後		1		1						3年に1回 副
造形実習（中国書法）E	2・3・4前		1		1						3年に1回 副	
造形実習（中国書法）F	2・3・4後		1		1						3年に1回 副	
造形実習（日本書法）A	2・3・4前		1			1					3年に1回 副	
造形実習（日本書法）B	2・3・4後		1			1					3年に1回 副	
造形実習（日本書法）C	2・3・4前		1			1					3年に1回 副	
造形実習（日本書法）D	2・3・4後		1			1					3年に1回 副	
造形実習（日本書法）E	2・3・4前		1			1					3年に1回 副	
造形実習（日本書法）F	2・3・4後		1			1					3年に1回 副	

プログラム展開科目	プロジェクト実践演習（発展）Ⅰ	3前	2		5	1			オムニバス			
	プロジェクト実践演習（発展）Ⅱ	3後	2		5	1			オムニバス			
	プロジェクト実践演習（発展）Ⅲ	4前	2		5	1			オムニバス			
	美術史Ⅰ	3前		2				兼1			副	
	美術史Ⅱ	4前		2				兼1			副	
	書学	3・4前		2		1	1			※1か ら4単 位を選 択	隔年 隔年 隔年 隔年	副 副 副 副
	芸術文化論特講 A	2・3後		2		1						
	芸術文化論特講 B	3・4前		2		1						
	音楽文化論特講 A	2・3後		2		1						
	音楽文化論特講 B	3・4前		2		1						
	芸術文化論演習A	3・4前		2		1				※1	隔年	
	芸術文化論演習B	3・4後		2		1				※1	隔年	
	芸術文化論演習C	3・4前		2		1				※1	隔年	
	芸術文化論演習D	3・4後		2		1				※1	隔年	
	美術史演習A	3・4前		2				兼1	※1		隔年	
	美術史演習B	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	美術史演習C	3・4前		2				兼1	※1		隔年	
	美術史演習D	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（絵画）A	3・4前		2				兼1	※1	集中	隔年	
	造形演習（絵画）B	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（絵画）C	3・4前		2				兼1	※1	集中	隔年	
	造形演習（絵画）D	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（彫刻）A	3・4前		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（彫刻）B	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（彫刻）C	3・4前		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（彫刻）D	3・4後		2				兼1	※1		隔年	
	造形演習（版画）Ⅰ	3前		2				兼1	※1			
	造形演習（版画）Ⅱ	3後		2				兼1	※1			
	造形演習（デザイン）A	3・4前		2		1			※1		隔年	
	造形演習（デザイン）B	3・4後		2		1			※1		隔年	
	造形演習（デザイン）C	3・4前		2		1			※1		隔年	
	造形演習（デザイン）D	3・4後		2		1			※1		隔年	
	造形演習（金工）A	3・4前		2		1			※1		隔年	
造形演習（金工）B	3・4後		2		1			※1		隔年		
造形演習（金工）C	3・4前		2		1			※1		隔年		
造形演習（金工）D	3・4後		2		1			※1		隔年		
造形演習（窯芸）Ⅰ	3前		2				兼1	※1				
造形演習（窯芸）Ⅱ	3後		2				兼1	※1				
造形演習（染織）Ⅰ	3前		2				兼1	※1				
造形演習（染織）Ⅱ	3後		2				兼1	※1				
造形演習（視覚文化）A	3・4前		2		1			※1	集中	隔年		
造形演習（視覚文化）B	3・4後		2		1			※1	集中	隔年		
造形演習（視覚文化）C	3・4前		2		1			※1	集中	隔年		
造形演習（視覚文化）D	3・4後		2		1			※1	集中	隔年		
造形演習（応用書法）Ⅰ	3前		2		1	1		※1				
造形演習（応用書法）Ⅱ	3後		2				兼1	※1	集中			
造形演習（応用書法）Ⅲ	4前		2		1	1		※1				
造形演習（応用書法）Ⅳ	4後		2		1	1		※1				
著作権概論	2・3後		2		1		兼1			隔年	専任教員が担当 (29)	

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
ヨーロッパ語圏文化専修プログラム	ドイツ語学講義A	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	ドイツ語学講義B	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	ドイツ語学講義C	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	ドイツ文学講義A	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ文学講義B	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ文学講義C	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ドイツ文化論講義A	2・3・4前		2		1	+					3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
	ドイツ文化論講義B	2・3・4前		2		1	+					3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
	ドイツ文化論講義C	2・3・4前		2		1	+					3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
	フランス語学講義A	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	フランス語学講義B	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	フランス語学講義C	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	フランス文学講義A	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	フランス文学講義B	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	フランス文学講義C	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	フランス文化論講義A	2後 2前		2							兼1	集中	副	教育的効果をもとめ毎週講義に変更。学生 のフランス文化に関する知識レベルが上 がった後に学習させることにより、学習効果を 高める。(29)
	フランス文化論講義B	2・3前		2			1					隔年	副	
	フランス文化論講義C	2・3前		2			1					隔年	副	
	ロシア語学講義A	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ロシア語学講義B	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ロシア語学講義C	2・3・4前		2			1					3年に1回	副	
	ロシア文学・文化論講義	2・3・4前		2			1				兼+	隔年	副	専任教員が担当(29)
	総合ドイツ語A	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	総合ドイツ語B	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	総合ドイツ語C	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	ドイツ語コミュニケーション発展A	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	ドイツ語コミュニケーション発展B	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	ドイツ語コミュニケーション発展C	2・3・4前		2							兼1	3年に1回	副	
	総合フランス語A	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	総合フランス語B	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	総合フランス語C	2・3・4前		2		1						3年に1回	副	
	フランス語コミュニケーション発展A	2後 2→3前		2							兼1	毎年 隔年	副	学生の語学レベルが上が った後に学習させる ことにより、学習効果を 高める。また、学生の履 修機会を増やすため毎 年開講とする。(29)
	フランス語コミュニケーション発展B	2・3前		2			1				兼+	隔年	副	日本人教員からフラン ス人ネイティブ教員に 変更することにより教育 的効果が高まる。(29)
	フランス語コミュニケーション発展C	2・3前 2→3後		2		+	1					隔年	副	日本人教員からフラン ス人ネイティブ教員に 変更することにより教育 的効果が高まる。教育 効果を考慮し、配当年 次を変更。(29)
	総合ロシア語	2前		2			+				兼1		副	日本人教員からロシア 語ネイティブ教員に変 更することにより教育的 効果が高まる。(29)
	ロシア語コミュニケーション発展A	2・3・4前		2			+				兼1	3年に1回	副	日本人教員からロシア 語ネイティブ教員に変 更することにより教育的 効果が高まる。(29)
ロシア語コミュニケーション発展B	2・3・4前		2			1					3年に1回	副		
ロシア語コミュニケーション発展C	2・3・4前		2			1					3年に1回	副		
英米文化論講義A	2・3前		2			1					隔年	副		
英米文化論講義B	2・3後		2			1					隔年	副		
英米文化論講義C	2・3前		2			1					隔年	副		
英米文化論講義D	2・3後		2			1					隔年	副		
英米文化論講義E	2・3前		2					1			隔年	副		
英米文化論講義F	2・3前		2					1			隔年	副		
英米文化論講義G	2・3後		2		1						隔年	副		
英米文化論講義H	2・3後		2		1						隔年	副		
英米文学講義A	2・3前		2		1						隔年	副		
英米文学講義B	2・3前		2		1						隔年	副		

英米文学講義C	2・3後	2			1			隔年	副	
英米文学講義D	2・3後	2			1			隔年	副	
言語習得論A	2前	2	1						副	
言語習得論B	2後	2	1						副	
英語学講義A	2前	2	1						副	
英語学講義B	2後	2	1						副	
英語学講義C	2前	2		1					副	
英語学講義D	2後	2		1					副	
英語学講義E	2後	2	1						副	
英語学講義F	2後	2		1					副	
総合英語A	2前	2	1						副	
総合英語B	2後	2	1						副	
ギリシャ語	2・3前	2	1					隔年	副	
ラテン語	2・3前	2	1					隔年	副	
西洋史講義A	2・3・4前	2		1		兼1		3年に1回	副	教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施(29)
西洋史講義B	2・3・4前	2		1				3年に1回	副	
西洋史講義C	2・3・4前	2		1				3年に1回	副	
日本語学概説	2前	2		1					副	
日本語学講義A	2・3前	2		1				隔年	副	
日本語学講義B	2・3後	2		1				隔年	副	
日本語学講義C	2・3前	2		1				隔年	副	
日本語学講義D	2・3後	2		1				隔年	副	
ジェンダー論B	2・3前	2		1				隔年	副	
ジェンダー論D	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
複合エスニシティ論B	2・3後	2		1				隔年	副	
複合エスニシティ論D	2・3後	2		1				隔年	副	
社会文化思想論Ⅰ	2・3前	2	+			兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
社会文化思想論Ⅱ	2・3後	2	+			兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
社会文化思想論Ⅲ	2・3前	2	+			兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
社会文化思想論Ⅳ	2・3後	2	+			兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
表象文化論A	2・3前	2	1					隔年	副	
表象文化論B	2・3後	2	1					隔年	副	
表象文化論C	2・3前	2	1					隔年	副	
表象文化論D	2・3後	2	1					隔年	副	
音楽文化史A	2前	2	1						副	
ドイツ語学演習A	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
ドイツ語学演習B	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
ドイツ語学演習C	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
ドイツ文学演習A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ドイツ文学演習B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ドイツ文学演習C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ドイツ文化論演習A	3・4前	2		1				隔年	副	
ドイツ文化論演習B	3・4前	2		1				隔年	副	
フランス語学演習A	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
フランス語学演習B	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
フランス語学演習C	2・3・4後	2	1					3年に1回	副	
フランス文学演習A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス文学演習B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス文学演習C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス文化論演習A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス文化論演習B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス文化論演習C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語学演習A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語学演習B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語学演習C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア文学・文化論演習A	2・3・4後	2		1		兼1		3年に1回	副	専任教員が担当(29)
ロシア文学・文化論演習B	2・3・4後	2				兼1		3年に1回	副	
ロシア文学・文化論演習C	2・3・4後	2				兼1		3年に1回	副	
ドイツ語コミュニケーション実践A	2・3・4後	2	1	+				3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
ドイツ語コミュニケーション実践B	2・3・4後	2	1	+				3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
ドイツ語コミュニケーション実践C	2・3・4後	2	1	+				3年に1回	副	昇任により職位変更(29)
ドイツ語作文A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ドイツ語作文B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	

ドイツ語作文C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス語コミュニケーション実践A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス語コミュニケーション実践B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス語コミュニケーション実践C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
フランス語作文A	3・4前	2		1				隔年	副	
フランス語作文B	3・4前	2		1				隔年	副	
ロシア語コミュニケーション実践A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語コミュニケーション実践B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語コミュニケーション実践C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
ロシア語コミュニケーション実践D	2・3・4後	2				兼1		3年に1回	副	
ロシア語コミュニケーション実践E	2・3・4後	2				兼1		3年に1回	副	
ロシア語コミュニケーション実践F	2・3・4後	2				兼1		3年に1回	副	
ロシア語作文	3・4前	2		1				隔年	副	
アカデミック・イングリッシュ I	3・4前	2				兼1		隔年	副	
アカデミック・イングリッシュ II	3・4前	2				兼1		隔年	副	
英語コミュニケーション応用 I	3後	2		1						
英語コミュニケーション応用 II	4前	2		1						
英語コミュニケーション実践 I	3前	2				兼1			副	
英語コミュニケーション実践 II	3後	2				兼1			副	
西洋史特講A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
西洋史特講B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副	
西洋史特講C	2・3・4後	2		1		兼1		3年に1回	副	教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施(29)
ジェンダー論特講A	3・4前	2		1				隔年	副	
ジェンダー論特講B	3・4後	2		1				隔年	副	
ジェンダー論特講C	3・4前	2		1				隔年	副	
ジェンダー論特講D	3・4後	2		1				隔年	副	
複合エスニシティ論特講A	3・4前	2		1				隔年	副	
複合エスニシティ論特講B	3・4後	2		1				隔年	副	
複合エスニシティ論特講C	3・4前	2		1				隔年	副	
複合エスニシティ論特講D	3・4後	2		1				隔年	副	
社会文化思想論特講A	2・3後	2		+		兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
消費文化論特講	2・3後	2		+		兼1		隔年	副	完成年度前に定年退職する教員が担当であるため修正(29)
表象文化論特講A	2・3後	2		1				隔年	副	
表象文化論特講B	3・4前	2		1				隔年	副	
比較文学論特講A	2・3前 2・3後	2		1				隔年	副	担当教員長期研修のため前期開講(29)
人間学特講B	3・4後	2		1				隔年	副	

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
アジア圏文化専修プログラム	日本史講義A	2・3前		2		1					隔年	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)
	日本史講義B	2・3前 2・3後		2		1					隔年	
	日本思想史講義A	2・3前		2		1					隔年	
	日本思想史講義B	2・3後		2		1					隔年	
	日本思想史講義C	2・3前		2		1					隔年	
	日本思想史講義D	2・3後		2		1					隔年	
	アジア史講義A	2・3前		2			1				隔年	
	アジア史講義B	2・3前		2			1				隔年	
	アジア史講義C	2・3前		2			1				隔年	
	アジア史講義D	2・3後		2			1				隔年	
	アジア史講読A	2・3・4前		2			1				3年に1回	
	アジア史講読B	2・3・4後		2			1				3年に1回	
	アジア史講読C	2・3・4前		2			1				3年に1回	
	アジア史講読D	2・3・4後		2			1				3年に1回	
	日本文学講義I	2・3前		2		1					隔年	
	日本文学講義II	2・3後		2		1					隔年	
	日本文学講義III	2・3前		2		1					隔年	
	日本文学講義IV	2・3後		2		1					隔年	
	日本語学概説	2前		2			1				隔年	
	日本語学講義A	2・3前		2			1				隔年	
	日本語学講義B	2・3後		2			1				隔年	
	日本語学講義C	2・3前		2			1				隔年	
	日本語学講義D	2・3後		2			1				隔年	
	日本語学講読A	2・3前		2			1				隔年	
	日本語学講読B	2・3前		2			1				隔年	
	日本語教授法講義I	2・3前		2						兼1	隔年	
	日本語教授法講義II	2・3後		2						兼1	隔年	
	日本古典講読I	2・3・4前		2		1					3年に1回	
	日本古典講読II	2・3・4後		2		1					3年に1回	
	中国思想史講義I	2・3前		2						兼1	隔年	
	中国思想史講義II	2・3後		2						兼1	隔年	
	中国文学講義I	2・3前		2						兼1	隔年	
	中国文学講義II	2・3後		2						兼1	隔年	
	中国語学講義A	2・3前		2						兼1	隔年	
	中国語学講義B	2・3後		2			1				隔年	
	中国語学講義C	2・3前		2						兼1	隔年	
	中国語学講義D	2・3後		2			1				隔年	
	中国語学講義E	2・3前		2			1				隔年	
	中国語学講義F	2・3後		2			1				隔年	
	中国語学講読A	2・3・4前		2						兼1	3年に1回	
中国語学講読B	2・3・4後		2			1				3年に1回		
中国語学講読C	2・3・4前		2			1				3年に1回		
中国語学講読D	2・3・4後		2			1				3年に1回		
中国語学講読E	2・3・4前		2			1				3年に1回		
中国語学講読F	2・3・4後		2			1				3年に1回		
考古学講義A	2前		2						兼1	隔年		
考古学講義B	2後		2						兼1	隔年		
書道史	2・3前		2		1	1				隔年		
地域社会学	2後		2			1				隔年		
漢文学概論	2前		2						兼1	隔年		
漢文学講義	2後		2						兼1	隔年		
複合エスニシティ論A	2・3前		2			1				隔年		
複合エスニシティ論B	2・3後		2			1				隔年		
複合エスニシティ論C	2・3前		2			1				隔年		
複合エスニシティ論D	2・3後		2			1				隔年		
プログラム展開科目	書学	3・4前		2		1	1				隔年	教育効果を高めるため、配当年次を変更(28)
	日本史特講A	2・3・4後 2・3後		2			1				3年に1回	
	日本史特講B	2・3・4後 2・3後		2			1				3年に1回	
	日本史特講C	2・3・4後 2・3後		2			1				3年に1回	
	日本史特講D	2・3・4後		2			1			兼1	集中	
	日本史講読A	3・4前		2			1				隔年	
	日本史講読B	2・3後		2			1				隔年	
	日本史講読C	3・4前		2			1				隔年	
日本史講読D	2・3後		2			1				隔年		

日本史演習 I	3前	2	1			※1	※1から2単位を選択	副	
日本史演習 II	3後	2	1			※1		副	
日本史演習 III	4前	2	1			※1			
日本史演習 IV	4後	2	1			※1			
日本思想史特講 A	3・4前	2	1					隔年	副
日本思想史特講 B	3・4後	2	1					隔年	副
日本思想史特講 C	2・3前 2・3後	2				兼1	集中	隔年	副
日本思想史講読 I	3・4前	2	1					隔年	副
日本思想史講読 II	3・4後	2	1					隔年	副
日本思想史演習 I	3・4前	2	1			※1		隔年	副
日本思想史演習 II	3・4後	2	1			※1		隔年	副
日本思想史演習 III	3・4前	2	1			※1		隔年	副
日本思想史演習 IV	3・4後	2	1			※1		隔年	副
アジア史特講 A	2・3・4後	2		1				3年に1回	副
アジア史特講 B	2・3・4後	2		1				3年に1回	副
アジア史特講 C	2・3・4後	2		1				3年に1回	副
アジア史特講 D	3・4前	2				兼1	集中	隔年	副
アジア史特講 E	2・3・4後	2				兼1	集中	3年に1回	副
アジア史特講 F	2・3・4後	2		1				3年に1回	副
アジア史演習 A	3・4前	2	1			※2	※2から2単位を選択	隔年	副
アジア史演習 B	3・4後	2	1			※2		隔年	副
アジア史演習 C	3・4前	2	1			※2		隔年	副
アジア史演習 D	3・4後	2	1			※2		隔年	副
日本文学特講 A	3・4前	2	1					隔年	副
日本文学特講 B	2・3・4後	2	1					集中 3年に1回	副
日本文学特講 C	2・3・4前	2	1					集中 3年に1回	副
日本文学講読 A	3・4後	2	1					隔年	副
日本文学講読 B	3・4前	2	1					隔年	副
日本文学講読 C	3・4後	2	1			兼1		隔年	副
日本文学演習 I	3・4前	2	1			※3	※3から2単位を選択	隔年	副
日本文学演習 II	3・4後	2	1			※3		隔年	副
日本文学演習 III	3・4前	2	1			※3		隔年	副
日本文学演習 IV	3・4後	2	1			※3		隔年	副
日本語学特講 A	3・4後	2		1				隔年	副
日本語学特講 B	3・4後	2		1				隔年	副
日本語学特講 C	2・3後	2				兼1	集中	隔年	副
日本語学特講 D	2・3後	2				兼1		隔年	副
日本語学演習 I	3・4前	2		1		※3		隔年	副
日本語学演習 II	3・4後	2		1		※3		隔年	副
日本語学演習 III	3・4前	2		1		※3		隔年	副
日本語学演習 IV	3・4後	2		1		※3		隔年	副
中国思想史特講 A	3・4前	2				兼1		隔年	副
中国思想史特講 B	3・4後	2				兼1		隔年	副
中国文学特講 A	3・4前	2				兼1		隔年	副
中国文学特講 B	3・4後	2				兼1		隔年	副
中国語学特講 A	3・4前	2				兼1	集中	隔年	副
中国語学特講 B	3・4後	2				兼1	集中	隔年	副
中国語学演習 A	3・4前	2		1		※4	※4から2単位を選択	隔年	副
中国語学演習 B	3・4後	2		1		※4		隔年	副
中国語学演習 C	3・4前	2		1		※4		隔年	副
中国語学演習 D	3・4後	2		1		※4		隔年	副
考古学各論 A	3・4前	2				兼1		隔年	副
考古学各論 B	3・4後	2				兼1		隔年	副
社会文化思想論特講 B	3前	2			↓	兼1		副	

集中講義を夏季休業中に開講することにより、学生の履修機会を増やすため。(29)

兼任教員都合により、毎週開講は困難なため(29)

元学年度に足年退職する教員が担当であるため修年(29)

※備考欄にある「副」は、副専修プログラム科目を表します。

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
34	994	1	1029	34	994	1	1029	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 **【該当なし】**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 **【該当なし】**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{1029} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	敷地の売却(29)			
	校舎敷地	280,802 m ² 282,481 m²	0 m ²	0 m ²	280,802 m ² 282,481 m²				
	運動場用地	61,037 m ²	0 m ²	0 m ²	61,037 m ²				
	小 計	341,839 m ² 343,518 m²	0 m ²	0 m ²	341,839 m ² 343,518 m²				
	そ の 他	74,213 m ²	0 m ²	0 m ²	74,213 m ²				
	合 計	416,052 m ² 417,731 m²	0 m ²	0 m ²	416,052 m ² 417,731 m²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	141,583 m ² (141,583 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	141,583 m ² (141,583 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	96 室	51 室	362 室	12 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			学部全体			
	人文社会科学部人間文化課程		67 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体での数 予算状況（運営費交付金の状況）等の変更による(29)	
	人文社会科学部人間文化課程	909,997 [199,025] 872,148 [195,791] (872,148 [195,791])	11,525 [2,204] 11,213 [2,153] (11,213 [2,153])	6,340 [5,767] 6,413 [5,841] (6,413 [5,841])	4,743 3,744 (3,744)	87 82 (82)	0 (0)		
	計	909,997 [199,025] 872,148 [195,791] (872,148 [195,791])	11,525 [2,204] 11,213 [2,153] (11,213 [2,153])	6,340 [5,767] 6,413 [5,841] (6,413 [5,841])	4,743 3,744 (3,744)	87 82 (82)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	9,089 m ²	671		677,122					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	6,357 m ²	野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による
		教員1人当たり研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		-							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	250	学士（総合科学）	1.04	平成28年度		
地域政策課程	4	75	4	150	学士（総合科学）	1.06	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士（総合科学）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士（教育）	1.07	平成12年度		
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（生涯教育）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士（芸術文化）	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	180	学士（理工学）	1.05	平成28年度		
物理・材料理工学科	4	80	2	160	学士（理工学）	1.02	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	540	学士（工学）	1.02	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.08	平成28年度		
応用生物化学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.02	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	60	学士（農学）	1.08	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	120	学士（農学）	1.06	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	60	学士（農学）	1.01	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	180	学士（獣医学）	1.08	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
総合科学研究科（修士課程）								岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
地域創生専攻	2	54	—	54	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.18	平成29年度		
総合文化学専攻	2	10	—	10	修士（学術）	0.70	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180	—	180	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.88	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50	—	50	修士（農学）	1.08	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	

人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間科学専攻	2	-	-	16	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
国際文化学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会・環境システム学専攻	2	-	-	8	修士（学術）	-	平成16年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.09	平成28年度	-	同上	
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成21年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-	修士（教育学）	-	平成7年度	-	同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
応用化学・生命工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
フロンティア材料機能工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
デザイン・メディア工学専攻	2	-	-	-	修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
農学生命専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
応用生物化学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
動物科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
バイオフロンティア専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	-	同上	平成29年より学生募集停止
工学研究科（博士後期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	-	27	博士（工学）	0.29	平成21年度	-	同上	
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.16	平成21年度	-	同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	-	12	博士（工学）	1.50	平成21年度	-	同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度	-	同上	
連合農学研究科（博士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
生物生産科学専攻	3	8	-	24	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度	-	同上	
生物資源科学専攻	3	10	-	30	博士（農学又は学術）	0.90	平成2年度	-	同上	
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	-	18	博士（農学又は学術）	0.66	平成18年度	-	同上	
生物環境科学専攻	3	8	-	18	博士（農学又は学術）	0.91	平成2年度	-	同上	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会科学部 人間文化課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	遠藤教昭(58)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 社会情報システム論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会情報システム論特講 地理情報システム論A 地理情報システム論B 認知情報学演習 認知情報学特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	遠藤教昭(59)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 社会情報システム論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会情報システム論特講 地理情報システム論A 地理情報システム論B 認知情報学演習 認知情報学特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 情報基礎	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
専	教授	北村一親(57)	平成28年4月	フランス語基礎 人間行動論 行動科学方法論 心理・社会言語学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 一般言語学 言語学演習A 言語学演習B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	専	教授	北村一親(58)	平成28年4月	フランス語基礎 人間行動論 行動科学方法論 心理・社会言語学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 一般言語学 言語学演習A 言語学演習B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	教授	白倉孝行(58)	平成28年4月	人間行動論 基礎統計学 行動科学方法論 心理学基礎実験 統計学(検定・推定) 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 認知情報学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	白倉孝行(59)	平成28年4月	人間行動論 基礎統計学 行動科学方法論 心理学基礎実験 統計学(検定・推定) 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 認知情報学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 情報基礎	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
専	教授	浅沼道成(57)	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ文化論 スポーツプロデュース論 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 スポーツ社会調査実習 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ 地域スポーツコーディネート実習 スポーツNPO論 スポーツプロデュース演習A スポーツプロデュース演習B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	浅沼道成(58)	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ文化論 スポーツプロデュース論 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 スポーツ社会調査実習 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ 地域スポーツコーディネート実習 スポーツNPO論 スポーツプロデュース演習A スポーツプロデュース演習B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)
専	教授	織田信男(52)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 人格心理学(人格心理学概論) 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 心理検査法実習 人格心理学演習A 人格心理学演習B 人格心理学特講 臨床心理学実習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 心の理解	専	教授	織田信男(53)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 人格心理学(人格心理学概論) 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 心理検査法実習 人格心理学演習A 人格心理学演習B 人格心理学特講 臨床心理学実習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 心の理解	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	高橋宏一(61)	平成28年4月	人間行動論 行動科学統計法B 行動科学方法論 行動地理学 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会地理学 人口地理学 人文地理学演習A 人文地理学演習B 地域分析 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 地域と生活 地域と社会	専	教授	高橋宏一(62)	平成28年4月	人間行動論 行動科学統計法B 行動科学方法論 行動地理学 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会地理学 人口地理学 人文地理学演習A 人文地理学演習B 地域分析 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー 都市の研究 地域と生活 地域と社会	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
専	教授	竹村祥子(57)	平成28年4月	社会調査法 人間行動論 家族社会学 行動科学方法論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 家族社会学演習A 家族社会学演習B 家族社会学特講A 家族社会学特講B 社会学概論 社会調査特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 社会的人間論 現代社会の社会学	専	教授	竹村祥子(58)	平成28年4月	社会調査法 人間行動論 家族社会学 行動科学方法論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 家族社会学演習A 家族社会学演習B 家族社会学特講A 家族社会学特講B 社会学概論 社会調査特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 社会的人間論 現代社会の社会学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	教授	松岡和生(58)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 認知心理学 認知心理学演習A 認知心理学演習B 認知心理学特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 心の理解	専	教授	松岡和生(59)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 認知心理学 認知心理学演習A 認知心理学演習B 認知心理学特講 心理学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 専門分野の違う複数の教員で担当するため「心理学概論」を追加。(29)
専	教授	山口浩(61)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 実験心理学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 実験心理学演習A 実験心理学演習B 実験心理学特講(学習心理学概論) 心理学概論 心理検査法実習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 心の理解	専	教授	山口浩(62)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 実験心理学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 実験心理学演習A 実験心理学演習B 実験心理学特講(学習心理学概論) 心理学概論 心理検査法実習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 心の理解	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)
専	教授	池田成一(62)	平成28年4月	現代文化論 歴史学概論 社会文化思想論Ⅰ 社会文化思想論Ⅱ 社会文化思想論Ⅲ 社会文化思想論Ⅳ 文化事象探究A 文化事象探究B 文化事象探究C 文化事象探究D 社会文化思想論演習A 社会文化思想論演習B 社会文化思想論演習C 社会文化思想論演習D 社会文化思想論特講A 社会文化思想論特講B 消費文化論特講 史学史 歴史資料論 人間文化研究 欧米の思想と文化	専	教授	池田成一(63)	平成28年4月	現代文化論 歴史学概論 社会文化思想論Ⅰ 社会文化思想論Ⅱ 社会文化思想論Ⅲ 社会文化思想論Ⅳ 文化事象探究A 文化事象探究B 文化事象探究C 文化事象探究D 社会文化思想論演習A 社会文化思想論演習B 社会文化思想論演習C 社会文化思想論演習D 社会文化思想論特講A 社会文化思想論特講B 消費文化論特講 史学史 歴史資料論 人間文化研究 基礎セミナー 欧米の思想と文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	講師	池田成一(65)	平成31年4月	社会文化思想論Ⅰ 社会文化思想論Ⅱ 社会文化思想論Ⅲ 社会文化思想論Ⅳ 社会文化思想論演習A 社会文化思想論演習B 社会文化思想論演習C 社会文化思想論演習D 社会文化思想論特講A 社会文化思想論特講B 消費文化論特講 欧米の思想と文化						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
専	教授	後藤尚人(57)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 文化記号論Ⅰ 文化記号論Ⅱ 文化記号論Ⅲ 文化記号論Ⅳ 文化現象探究A 文化現象探究B 文化現象探究C 文化現象探究D メディア文化論特講A メディア文化論特講B 文化記号論演習A 文化記号論演習B 文化記号論演習C 文化記号論演習D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級フランス語(発展) ポランディアとリーダーシップ 危機管理と復興	専	教授	後藤尚人(58)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 文化記号論Ⅰ 文化記号論Ⅱ 文化記号論Ⅲ 文化記号論Ⅳ 文化現象探究A 文化現象探究B 文化現象探究C 文化現象探究D メディア文化論特講A メディア文化論特講B 文化記号論演習A 文化記号論演習B 文化記号論演習C 文化記号論演習D 著作権概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級フランス語(発展) ポランディアとリーダーシップ 危機管理と復興	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 「著作権概論」を追加。
専	教授	山本昭彦(59)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 表象文化論A 表象文化論B 表象文化論C 表象文化論D 文化現象探究A 文化現象探究B 文化現象探究C 文化現象探究D 比較文学論特講A 比較文学論特講B 表象文化論演習A 表象文化論演習B 表象文化論演習C 表象文化論演習D 表象文化論特講A 表象文化論特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 宮沢賢治の世界	専	教授	山本昭彦(61)	平成28年4月	フランス語基礎 現代文化論 表象文化論A 表象文化論B 表象文化論C 表象文化論D 文化現象探究A 文化現象探究B 文化現象探究C 文化現象探究D 比較文学論特講A 比較文学論特講B 表象文化論演習A 表象文化論演習B 表象文化論演習C 表象文化論演習D 表象文化論特講A 表象文化論特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 宮沢賢治の世界 欧米の文学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	教授	家井美千子(59)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本古典講読Ⅰ 日本古典講読Ⅱ 日本文学講義Ⅰ 日本文学講義Ⅱ 日本文学講義Ⅲ 日本文学講義Ⅳ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ 日本文学演習Ⅲ 日本文学演習Ⅳ 日本文学講読A 日本文学講読B 日本文学講読C 日本文学特講A 日本文学特講B 日本文学特講C 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 日本語表現基礎 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 日本の文学 日本語表現技術入門	専	教授	家井美千子(60)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本古典講読Ⅰ 日本古典講読Ⅱ 日本文学講義Ⅰ 日本文学講義Ⅱ 日本文学講義Ⅲ 日本文学講義Ⅳ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ 日本文学演習Ⅲ 日本文学演習Ⅳ 日本文学講読A 日本文学講読B 日本文学講読C 日本文学特講A 日本文学特講B 日本文学特講C 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 日本語表現基礎 日本語読解基礎 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 日本の文学 日本語表現技術入門	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員見直しのため「日本語読解基礎」を削除。(29) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	教授	中村安宏(54)	平成28年4月	アジア圏文化論 史学史 日本思想史講義A 日本思想史講義B 日本思想史講義C 日本思想史講義D 歴史資料論 日本思想史演習Ⅰ 日本思想史演習Ⅱ 日本思想史演習Ⅲ 日本思想史演習Ⅳ 日本思想史講読Ⅰ 日本思想史講読Ⅱ 日本思想史特講A 日本思想史特講B 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 日本の思想と文化	専	教授	中村安宏(55)	平成28年4月	アジア圏文化論 史学史 日本思想史講義A 日本思想史講義B 日本思想史講義C 日本思想史講義D 歴史資料論 日本思想史演習Ⅰ 日本思想史演習Ⅱ 日本思想史演習Ⅲ 日本思想史演習Ⅳ 日本思想史講読Ⅰ 日本思想史講読Ⅱ 日本思想史特講A 日本思想史特講B 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 日本の思想と文化	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	樋口知志(56)	平成28年4月	アジア圏文化論 史学史 日本史講義A 日本史講義B 歴史資料論 日本史演習Ⅰ 日本史演習Ⅱ 日本史演習Ⅲ 日本史演習Ⅳ 日本史講読A 日本史講読B 日本史講読C 日本史講読D 日本史特講A 日本史特講B 日本史特講C 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 日本の歴史と文化 東北の歴史	専	教授	樋口知志(57)	平成28年4月	アジア圏文化論 史学史 日本史講義A 日本史講義B 歴史資料論 日本史演習Ⅰ 日本史演習Ⅱ 日本史演習Ⅲ 日本史演習Ⅳ 日本史講読A 日本史講読B 日本史講読C 日本史講読D 日本史特講A 日本史特講B 日本史特講C 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 日本の歴史と文化 東北の歴史	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
専	教授	齋藤伸治(54)	平成28年4月	ギリシャ語 ラテン語 英語学講義A 英語学講義B 英語学講義E 英語学演習A 英語学演習B 英語学演習C 英語学演習D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 欧米の言語論	専	教授	齋藤伸治(55)	平成28年4月	ギリシャ語 ラテン語 英語学講義A 英語学講義B 英語学講義E 英語学演習A 英語学演習B 英語学演習C 英語学演習D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 欧米の言語論 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	教授	齋藤博次(61)	平成28年4月	英米文化論講義G 英米文化論講義H 英米文学講義A 英米文学講義B 総合英語A 総合英語B 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英米文化論演習A 英米文化論演習B 英米文化論演習C 英米文化論演習D 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 課題解決型国際研修(ドイツ語) 課題解決型国際研修(フランス語) 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展C 英語発展D 英語発展F 欧米の文学	専	教授	齋藤博次(63)	平成28年4月	英米文化論講義G 英米文化論講義H 英米文学講義A 英米文学講義B 総合英語A 総合英語B 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英米文化論演習A 英米文化論演習B 英米文化論演習C 英米文化論演習D 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 課題解決型国際研修(ドイツ語) 課題解決型国際研修(フランス語) 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展C 英語発展D 英語発展F 欧米の文学 日本語表現基礎	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」「課題解決型国際研修(フランス語)」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「日本語表現基礎」追加。 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)
専	教授	松林城弘(57)	平成28年4月	言語習得論A 言語習得論B 英語習得論演習A 英語習得論演習B 英語習得論演習C 英語習得論演習D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展E 英語発展G 英語発展H	専	教授	松林城弘(58)	平成28年4月	言語習得論A 言語習得論B 英語習得論演習A 英語習得論演習B 英語習得論演習C 英語習得論演習D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展E 英語発展G 英語発展H	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	横井雅明(55)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス語コミュニケーション基礎 フランス語コミュニケーション発展C フランス語学講義A フランス語学講義B フランス語学講義C 総合フランス語A 総合フランス語B 総合フランス語C フランス語学演習A フランス語学演習B フランス語学演習C 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	専	教授	横井雅明(56)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス語コミュニケーション基礎 フランス語コミュニケーション発展C フランス語学講義A フランス語学講義B フランス語学講義C 総合フランス語A 総合フランス語B 総合フランス語C フランス語学演習A フランス語学演習B フランス語学演習C 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(フランス語)」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「フランス語コミュニケーション発展C」削除。(29)
専	教授	大友展也(55)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ語基礎 ドイツ語コミュニケーション基礎 ドイツ語学講義A ドイツ語学講義B ドイツ語学講義C ドイツ語学演習A ドイツ語学演習B ドイツ語学演習C 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	専	教授	大友展也(56)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ語基礎 ドイツ語コミュニケーション基礎 ドイツ語学講義A ドイツ語学講義B ドイツ語学講義C ドイツ語学演習A ドイツ語学演習B ドイツ語学演習C 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」「ドイツ語コミュニケーション基礎」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」を削除。(28)
専	教授	阿部裕之(57)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 工芸基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 造形実習(金工)A 造形実習(金工)B 造形実習(金工)C 造形実習(金工)D 造形実習(金工)E 造形実習(金工)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(金工)A 造形演習(金工)B 造形演習(金工)C 造形演習(金工)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	阿部裕之(58)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 工芸基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 造形実習(金工)A 造形実習(金工)B 造形実習(金工)C 造形実習(金工)D 造形実習(金工)E 造形実習(金工)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(金工)A 造形演習(金工)B 造形演習(金工)C 造形演習(金工)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加。(29)
専	教授	木村直弘(54)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 現代文化論 芸術文化論 プロジェクト実践演習(基礎) 音楽文化史A 音楽文化史B 異学芸術学入門 文化事象探究A 文化事象探究B 文化事象探究C 文化事象探究D プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 音楽文化論特講A 音楽文化論特講B 芸術文化論演習A 芸術文化論演習B 芸術文化論演習C 芸術文化論演習D 芸術文化論特講A 芸術文化論特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 芸術の世界	専	教授	木村直弘(55)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 現代文化論 芸術文化論 プロジェクト実践演習(基礎) 音楽文化史A 音楽文化史B 異学芸術学入門 文化事象探究A 文化事象探究B 文化事象探究C 文化事象探究D プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 音楽文化論特講A 音楽文化論特講B 芸術文化論演習A 芸術文化論演習B 芸術文化論演習C 芸術文化論演習D 芸術文化論特講A 芸術文化論特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 芸術の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	教授	栗林徹(58)	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ 健康運動論 スポーツと栄養 健康運動論演習A 健康運動論演習B 健康運動処方論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	栗林徹(59)	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ 健康運動論 スポーツと栄養 健康運動論演習A 健康運動論演習B 健康運動処方論 人間文化入門 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 クラス編成の見直しにより「人間文化入門」追加。(29)
専	教授	田中隆充(47)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎B プロジェクト実践演習(基礎) 造形実習(デザイン)A 造形実習(デザイン)B 造形実習(デザイン)C 造形実習(デザイン)D 造形実習(デザイン)E 造形実習(デザイン)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(デザイン)A 造形演習(デザイン)B 造形演習(デザイン)C 造形演習(デザイン)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	田中隆充(48)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎B プロジェクト実践演習(基礎) 造形実習(デザイン)A 造形実習(デザイン)B 造形実習(デザイン)C 造形実習(デザイン)D 造形実習(デザイン)E 造形実習(デザイン)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(デザイン)A 造形演習(デザイン)B 造形演習(デザイン)C 造形演習(デザイン)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)
専	教授	玉澤友基(60)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 書道史 造形実習(中国書法)A 造形実習(中国書法)B 造形実習(中国書法)C 造形実習(中国書法)D 造形実習(中国書法)E 造形実習(中国書法)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 書学 造形演習(応用書法)Ⅰ 造形演習(応用書法)Ⅲ 造形演習(応用書法)Ⅳ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	玉澤友基(61)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 書道史 造形実習(中国書法)A 造形実習(中国書法)B 造形実習(中国書法)C 造形実習(中国書法)D 造形実習(中国書法)E 造形実習(中国書法)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 書学 造形演習(応用書法)Ⅰ 造形演習(応用書法)Ⅲ 造形演習(応用書法)Ⅳ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
専	教授	本村健太(48)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎A デザイン論 プロジェクト実践演習(基礎) 色彩演習 造形実習(視覚文化)A 造形実習(視覚文化)B 造形実習(視覚文化)C 造形実習(視覚文化)D 造形実習(視覚文化)E 造形実習(視覚文化)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(視覚文化)A 造形演習(視覚文化)B 造形演習(視覚文化)C 造形演習(視覚文化)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	本村健太(49)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 デザイン基礎A デザイン論 プロジェクト実践演習(基礎) 色彩演習 造形実習(視覚文化)A 造形実習(視覚文化)B 造形実習(視覚文化)C 造形実習(視覚文化)D 造形実習(視覚文化)E 造形実習(視覚文化)F プロジェクト実践演習(発展)Ⅰ プロジェクト実践演習(発展)Ⅱ プロジェクト実践演習(発展)Ⅲ 造形演習(視覚文化)A 造形演習(視覚文化)B 造形演習(視覚文化)C 造形演習(視覚文化)D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
専	准教授	五味壮平(48)	平成28年4月	人間行動論 ソーシャルデザイン論 行動科学方法論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ ソーシャルデザイン論演習A ソーシャルデザイン論演習B ソーシャルデザイン論特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	教授	五味壮平(48)	平成28年4月	人間行動論 ソーシャルデザイン論 行動科学方法論 社会調査実習 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ ソーシャルデザイン論演習A ソーシャルデザイン論演習B ソーシャルデザイン論特講 現代文化論 文化事象探究A 文化事象探究B 文化事象探究C 文化事象探究D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 情報基礎 三陸の研究 初年次自由ゼミナール	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「現代文化論」「文化事象探究A」「文化事象探究B」「文化事象探究C」「文化事象探究D」追加。(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	准教授	音喜多信博(49)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 心理学基礎実験 人間学 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 人間学演習A 人間学演習B 人間学演習C 人間学特講A 人間学特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 哲学の世界	専	准教授	音喜多信博(50)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 心理学基礎実験 人間学 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 人間学演習A 人間学演習B 人間学演習C 人間学特講A 人間学特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 哲学の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
専	准教授	奥野雅子(56)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 臨床心理学 心理検査法実習 臨床心理学演習A 臨床心理学演習B 臨床心理学特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー 心の理解	専	准教授	奥野雅子(57)	平成28年4月	人間行動論 行動科学方法論 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 臨床心理学 心理検査法実習 臨床心理学演習A 臨床心理学演習B 臨床心理学特講 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎セミナー 心の理解	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 専門分野の違う複数の教員で担当するため「心理学概論」を追加。(29) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
専	准教授	小野澤章子(48)	平成28年4月	社会調査法 社会調査特講 人間行動論 行動科学方法論 社会調査実習 地域社会学 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 地域社会学演習A 地域社会学演習B 地域社会学特講A 地域社会学特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 社会的人間論 現代社会の社会学	専	准教授	小野澤章子(49)	平成28年4月	社会調査法 社会調査特講 人間行動論 行動科学方法論 社会調査実習 地域社会学 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 地域社会学演習A 地域社会学演習B 地域社会学特講A 地域社会学特講B 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 社会的人間論 社会的人間論 現代社会の社会学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
専	准教授	鈴木護(46)	平成28年4月	人間行動論 行動科学統計法A 行動科学方法論 社会心理学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会心理学演習A 社会心理学演習B 社会心理学特講 犯罪社会心理学 犯罪心理学演習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 対人関係の心理学	専	准教授	鈴木護(47)	平成28年4月	人間行動論 行動科学統計法A 行動科学方法論 社会心理学 心理学基礎実験 特殊実験調査Ⅰ 特殊実験調査Ⅱ 社会心理学演習A 社会心理学演習B 社会心理学特講 犯罪社会心理学 犯罪心理学演習 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 心理学概論 対人関係の心理学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 専門分野の違う複数の教員で担当するため「心理学概論」を追加。(29)
専	准教授	海妻径子(47)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 ジェンダー論A ジェンダー論B ジェンダー論C ジェンダー論D ジェンダー論E ジェンダー論演習A ジェンダー論演習B ジェンダー論演習C ジェンダー論演習D ジェンダー論特講A ジェンダー論特講B ジェンダー論特講C ジェンダー論特講D 日本語表現基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 ジェンダーの歴史と文化 女性と科学の関係史	専	准教授	海妻径子(48)	平成28年4月	異文化間コミュニティ論 ジェンダー論A ジェンダー論B ジェンダー論C ジェンダー論D ジェンダー論E ジェンダー論演習A ジェンダー論演習B ジェンダー論演習C ジェンダー論演習D ジェンダー論特講A ジェンダー論特講B ジェンダー論特講C ジェンダー論特講D 日本語表現基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 ジェンダーの歴史と文化 女性と科学の関係史	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
専	准教授	梁仁實(44)	平成28年4月	韓国語基礎 異文化間コミュニティ論 複合エッセイ論A 複合エッセイ論B 複合エッセイ論C 複合エッセイ論D 複合エッセイ論演習A 複合エッセイ論演習B 複合エッセイ論演習C 複合エッセイ論演習D 複合エッセイ論特講A 複合エッセイ論特講B 複合エッセイ論特講C 複合エッセイ論特講D 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語	専	准教授	梁仁實(45)	平成28年4月	韓国語基礎 異文化間コミュニティ論 複合エッセイ論A 複合エッセイ論B 複合エッセイ論C 複合エッセイ論D 複合エッセイ論演習A 複合エッセイ論演習B 複合エッセイ論演習C 複合エッセイ論演習D 複合エッセイ論特講A 複合エッセイ論特講B 複合エッセイ論特講C 複合エッセイ論特講D 日韓学生の協働研修Ⅰ 日韓学生の協働研修Ⅱ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」削除。(28)
専	准教授	選考中	平成28年4月	アジア圏文化論 アジア史講義A アジア史講義B アジア史講義C アジア史講義D アジア史講義A アジア史講義B アジア史講義C アジア史講義D アジア史演習A アジア史演習B アジア史演習C アジア史演習D アジア史特講A アジア史特講B アジア史特講C アジア史特講F 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	准教授	麻田雅文(36)	平成28年4月	アジア圏文化論 アジア史講義A アジア史講義B アジア史講義C アジア史講義D アジア史講義A アジア史講義B アジア史講義C アジア史講義D アジア史演習A アジア史演習B アジア史演習C アジア史演習D アジア史特講A アジア史特講B アジア史特講C アジア史特講F 歴史学概論 歴史資料論 史学史 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級ロシア語(入門) 初級ロシア語(発展)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 「歴史学概論」「歴史資料論」「史学史」を追加。(29)
専	准教授	西田文信(43)	平成28年4月	中国語基礎 中国語学講義A 中国語学講義B 中国語学講義C 中国語学講義D 中国語学講義E 中国語学講義F 中国語学講義A 中国語学講義B 中国語学講義C 中国語学講義D 中国語学講義E 中国語学講義F 中国語学演習A 中国語学演習B 中国語学演習C 中国語学演習D 課題解決型国際研修(中国) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中国の文学	兼任	講師	西田文信(44)		中国語学講義A 中国語学講義C 中国語学講義A	平成29年3月 西田文信准教授授任。(29) 「後任未定」平成29年10月から専任教員採用予定 「中国語学講義A」「中国語学講義C」「中国語学講義A」は29年度担当者変更。 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年3月 西田文信准教授授任のため科目削除。(29) 平成29年4月 西田文信准教授授任、後任未定のため兼任講師が担当。
専	准教授	小島聡子(47)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本語概論 日本語学講義A 日本語学講義B 日本語学講義C 日本語学講義D 日本語学講義A 日本語学講義B 日本語学演習Ⅰ 日本語学演習Ⅱ 日本語学演習Ⅲ 日本語学演習Ⅳ 日本語学特講A 日本語学特講B 日本語学特講C 日本語学特講D 日本語学特講E 日本語学特講F 日本語学特講G 日本語学特講H 日本語学特講I 日本語学特講J 日本語学特講K 日本語学特講L 日本語学特講M 日本語学特講N 日本語学特講O 日本語学特講P 日本語学特講Q 日本語学特講R 日本語学特講S 日本語学特講T 日本語学特講U 日本語学特講V 日本語学特講W 日本語学特講X 日本語学特講Y 日本語学特講Z 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 言葉の世界	専	准教授	小島聡子(48)	平成28年4月	アジア圏文化論 日本語概論 日本語学講義A 日本語学講義B 日本語学講義C 日本語学講義D 日本語学講義A 日本語学講義B 日本語学演習Ⅰ 日本語学演習Ⅱ 日本語学演習Ⅲ 日本語学演習Ⅳ 日本語学特講A 日本語学特講B 日本語学特講C 日本語学特講D 日本語学特講E 日本語学特講F 日本語学特講G 日本語学特講H 日本語学特講I 日本語学特講J 日本語学特講K 日本語学特講L 日本語学特講M 日本語学特講N 日本語学特講O 日本語学特講P 日本語学特講Q 日本語学特講R 日本語学特講S 日本語学特講T 日本語学特講U 日本語学特講V 日本語学特講W 日本語学特講X 日本語学特講Y 日本語学特講Z 課題解決型国際研修(中国語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 言葉の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(中国語)」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	准教授	シュヴァムホルンフランク(56)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ文化論講義A ドイツ文化論講義B ドイツ文化論講義C ドイツ語コミュニケーション実践A ドイツ語コミュニケーション実践B ドイツ語コミュニケーション実践C 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	専	教授	シュヴァムホルンフランク(57)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ文化論講義A ドイツ文化論講義B ドイツ文化論講義C ドイツ語コミュニケーション実践A ドイツ語コミュニケーション実践B ドイツ語コミュニケーション実践C 課題解決型国際研修(ドイツ語) ドイツ語コミュニケーション基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) 中級ドイツ語	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(ドイツ語)」削除。「ドイツ語コミュニケーション基礎」を追加(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「国際交流研修」追加。(29)
専	准教授	梶(福家)さやか(38)	平成28年4月	史学史 歴史資料論 西洋史講義A 西洋史講義B 西洋史講義C 西洋史演習A 西洋史演習B 西洋史演習C 西洋史演習D 西洋史講義A 西洋史講義B 西洋史講義C 西洋史講義D 西洋史講義E 西洋史特講A 西洋史特講B 西洋史特講C 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 欧米の歴史と文化	専	准教授	梶(福家)さやか(39)	平成28年4月	史学史 歴史資料論 西洋史講義A 西洋史講義B 西洋史講義C 西洋史演習A 西洋史演習B 西洋史演習C 西洋史演習D 西洋史講義A 西洋史講義B 西洋史講義C 西洋史講義D 西洋史講義E 西洋史特講A 西洋史特講B 西洋史特講C 歴史学概論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 欧米の歴史と文化	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除。(29)
専	准教授	川村和宏(39)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ文学講義A ドイツ文学講義B ドイツ文学講義C ドイツ語作文A ドイツ語作文B ドイツ語作文C ドイツ文化論演習A ドイツ文化論演習B ドイツ文学演習A ドイツ文学演習B ドイツ文学演習C 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	専	准教授	川村和宏(40)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ドイツ文学講義A ドイツ文学講義B ドイツ文学講義C ドイツ語作文A ドイツ語作文B ドイツ語作文C ドイツ文化論演習A ドイツ文化論演習B ドイツ文学演習A ドイツ文学演習B ドイツ文学演習C 課題解決型国際研修(ドイツ語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 基礎セミナー 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28)
専	准教授	グラアレクサンドル(41)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス語コミュニケーション実践A フランス語コミュニケーション実践B フランス語コミュニケーション実践C フランス語作文A フランス語作文B フランス文化論演習A フランス文化論演習B フランス文化論演習C 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	専	准教授	グラアレクサンドル(42)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス語コミュニケーション実践A フランス語コミュニケーション実践B フランス語コミュニケーション実践C フランス語作文A フランス語作文B フランス文化論演習A フランス文化論演習B フランス文化論演習C 西部カトリック大学語学研修 課題解決型国際研修(フランス語) フランス語コミュニケーション発展B フランス語コミュニケーション発展C 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」削除。(28) 平成29年4月 日本語教員からネイティブ教員へ変更し教育効果を高めるため「フランス語コミュニケーション発展C」追加。
専	准教授	小林葉子(45)	平成28年4月	異文化間コミュニケーション論 異文化コミュニケーション論A 異文化コミュニケーション論B 異文化コミュニケーション論C 異文化コミュニケーション論D 異文化コミュニケーション論演習A 異文化コミュニケーション論演習B 異文化コミュニケーション論演習C 異文化コミュニケーション論演習D 異文化コミュニケーション論特講A 異文化コミュニケーション論特講B 異文化コミュニケーション論特講C 異文化コミュニケーション論特講D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 英語総合 I(上級) 英語総合 II(上級) 英語総合 I(初級) 英語総合 II(初級)	専	准教授	小林葉子(46)	平成28年4月	異文化間コミュニケーション論 異文化コミュニケーション論A 異文化コミュニケーション論B 異文化コミュニケーション論C 異文化コミュニケーション論D 異文化コミュニケーション論演習A 異文化コミュニケーション論演習B 異文化コミュニケーション論演習C 異文化コミュニケーション論演習D 異文化コミュニケーション論特講A 異文化コミュニケーション論特講B 異文化コミュニケーション論特講C 異文化コミュニケーション論特講D 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 英語総合 I(上級) 英語総合 II(上級) 英語総合 I(初級) 英語総合 II(初級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「国際交流研修」追加。(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
専	准教授	中里まき子(40)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス文化論講義B フランス文化論講義C フランス文学講義A フランス文学講義B フランス文学講義C フランス文学演習A フランス文学演習B フランス文学演習C 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	専	准教授	中里まき子(41)	平成28年4月	フランス語基礎 ヨーロッパ圏文化論 フランス文化論講義B フランス文化論講義C フランス文学講義A フランス文学講義B フランス文学講義C フランス文学演習A フランス文学演習B フランス文学演習C 課題解決型国際研修(フランス語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展) 中級フランス語	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(フランス語)」削除。(28)
専	准教授	橋本学(54)	平成28年4月	スキルアップ・イングリッシュA スキルアップ・イングリッシュB 英語学講義C 英語学講義D 英語学講義E 英語学講義F 英語学演習E 英語学演習F 英語学演習G 英語学演習H 英語発展ゼミナール I 英語発展ゼミナール II 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 英語総合 I(上級) 英語総合 II(上級) 英語総合 II(初級) コミュニケーションの現在	専	准教授	橋本学(55)	平成28年4月	スキルアップ・イングリッシュA スキルアップ・イングリッシュB 英語学講義C 英語学講義D 英語学講義E 英語学講義F 英語学演習E 英語学演習F 英語学演習G 英語学演習H 英語発展ゼミナール I 英語発展ゼミナール II 英語圏文化論 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 英語総合 I(上級) 英語総合 II(上級) 英語総合 II(初級) コミュニケーションの現在	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28)
専	准教授	堀口大樹(31)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ロシア語コミュニケーション基礎 ロシア語コミュニケーション発展A ロシア語コミュニケーション発展B ロシア語コミュニケーション発展C ロシア語学講義A ロシア語学講義B ロシア語学講義C 総合ロシア語 ロシア語コミュニケーション実践A ロシア語コミュニケーション実践B ロシア語コミュニケーション実践C ロシア語学演習A ロシア語学演習B ロシア語学演習C ロシア語作文 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 中級ロシア語	専	准教授	堀口大樹(32)	平成28年4月	ヨーロッパ圏文化論 ロシア語コミュニケーション基礎 ロシア語コミュニケーション発展A ロシア語コミュニケーション発展B ロシア語コミュニケーション発展C ロシア語学講義A ロシア語学講義B ロシア語学講義C 総合ロシア語 ロシア語コミュニケーション実践A ロシア語コミュニケーション実践B ロシア語コミュニケーション実践C ロシア語学演習A ロシア語学演習B ロシア語学演習C ロシア語作文 ロシア文学・文化論講義 ロシア文学・文化論演習A 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究 中級ロシア語 初級ロシア語(入門)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化研究」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるため「ロシア語コミュニケーション発展A」「総合ロシア語」をネイティブ教員に変更。兼任教員就任に伴い「ロシア文学・文化論講義」「ロシア文学・文化論演習A」追加。(29)
専	准教授	平田光彦(42)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 書道史 造形実習(日本書法)A 造形実習(日本書法)B 造形実習(日本書法)C 造形実習(日本書法)D 造形実習(日本書法)E 造形実習(日本書法)F プロジェクト実践演習(発展) I プロジェクト実践演習(発展) II プロジェクト実践演習(発展) III 書学 造形演習(応用書法) I 造形演習(応用書法) III 造形演習(応用書法) IV 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究	専	准教授	平田光彦(43)	平成28年4月	国際課題研修(芸術) 芸術文化論 書法基礎 プロジェクト実践演習(基礎) 書道史 造形実習(日本書法)A 造形実習(日本書法)B 造形実習(日本書法)C 造形実習(日本書法)D 造形実習(日本書法)E 造形実習(日本書法)F プロジェクト実践演習(発展) I プロジェクト実践演習(発展) II プロジェクト実践演習(発展) III 書学 造形演習(応用書法) I 造形演習(応用書法) III 造形演習(応用書法) IV 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論 I 総合科学論 II 特別研究	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
専	准教授	選考中	平成28年4月	英語コミュニケーション基礎Ⅰ 英語コミュニケーション基礎Ⅱ 英米文化論講義A 英米文化論講義B 英米文化論講義C 英米文化論講義D 英語コミュニケーション応用Ⅰ 英語コミュニケーション応用Ⅱ 英米文学演習A 英米文学演習B 英米文学演習C 英米文学演習D 課題解決型国際研修(英語) 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	准教授	スマイリジム(48)	平成28年4月	英語コミュニケーション基礎Ⅰ 英語コミュニケーション基礎Ⅱ 英米文化論講義A 英米文化論講義B 英米文化論講義C 英米文化論講義D 英語コミュニケーション応用Ⅰ 英語コミュニケーション応用Ⅱ 英米文学演習A 英米文学演習B 英米文学演習C 英米文学演習D 課題解決型国際研修(英語) 英語圏文化論 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」「課題解決型国際研修(英語)」削除。(28) 平成29年4月 「英語圏文化論」「英語発展ゼミナールⅠ」「英語発展ゼミナールⅡ」追加。 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
専	准教授	選考中	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 スポーツ行動論 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ スポーツ行動論演習A スポーツ行動論演習B スポーツ心理学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究	専	准教授	長谷川弓子(41)	平成28年4月	スポーツ科学 スポーツ科学実験・実習 スポーツ科学方法論 スポーツ行動論 健康スポーツ指導法Ⅰ 健康スポーツ指導法Ⅱ スポーツ行動論演習A スポーツ行動論演習B スポーツ心理学 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
専	講師	秋田淳子(50)	平成28年4月	英米文化論講義E 英米文化論講義F 英米文学講義C 英米文学講義D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英米文学演習E 英米文学演習F 英米文学演習G 英米文学演習H 英語圏文化論 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展A 英語発展B	専	講師	秋田淳子(51)	平成28年4月	英米文化論講義E 英米文化論講義F 英米文学講義C 英米文学講義D 英語発展ゼミナールⅠ 英語発展ゼミナールⅡ 英米文学演習E 英米文学演習F 英米文学演習G 英米文学演習H 英語圏文化論 日本語読解基礎 人間文化入門 人間文化研究 国際交流研修 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 英語総合Ⅱ(中級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展A 英語発展B 英語発展D 宮沢賢治の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「人間文化入門」「人間文化研究」「国際交流研修」削除。(28) 平成29年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「日本語読解基礎」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	備考
兼任	教授	内田浩(54)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 憲法 現代社会をみる視角	兼任	教授	内田浩(55)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 憲法 現代社会をみる視角	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28)
兼任	教授	松岡勝実(53)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 市民生活と法	兼任	教授	松岡勝実(54)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除(29)
兼任	教授	宮本ともみ(55)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(家族法)Ⅰ 民法(家族法)Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 市民生活と法	専任	教授	宮本ともみ(56)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(家族法)Ⅰ 民法(家族法)Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
兼任	教授	横山英信(53)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 経済学基礎Ⅰ 日本経済史 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 現代社会と経済 岩手の研究	兼任	教授	横山英信(54)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 経済学基礎Ⅰ 日本経済史 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 現代社会と経済 岩手の研究	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	竹原明秀(57)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 生命のしくみ 地域の環境保全を考える	専任	教授	竹原明秀(58)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 生命のしくみ 地域の環境保全を考える	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
兼任	教授	開龍美(61)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境文化論Ⅰ 環境文化論Ⅱ 環境思想史 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 哲学の世界	兼任	教授	開龍美(62)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境文化論Ⅰ 環境文化論Ⅱ 環境思想史 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 哲学の世界 「環境」を考える	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	菊池孝美(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	兼任	教授	菊池孝美(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年3月定年退職。
兼任	講師	菊池孝美(65)	平成29年4月	現代社会と経済	兼任	講師	菊池孝美(65)	平成29年4月	西洋経済史 現代社会と経済	平成29年4月 教員未定のため「西洋経済史」を兼任として担当。 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	選考予定 (菊池孝美後任)	平成29年4月	西洋経済史 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ			後任未定			平成29年4月 後任未定。
兼任	教授	田口典男(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	専任	教授	田口典男(64)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年3月定年退職。
兼任	講師	田口典男(65)	平成29年4月	現代社会と経済	兼任	講師	田口典男(65)	平成29年4月	現代社会と経済	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	選考予定 (田口典男後任)	平成30年4月	総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ			後任未定			平成29年4月 後任未定。
兼任	理事・教授	丸山仁(52)	平成28年4月	地域政策入門A 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ						
兼任	准教授	笹尾俊明(42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境経済論Ⅰ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 経済のしくみ 環境マネジメントと岩手大学	兼任	教授	笹尾俊明(43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境経済論Ⅰ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 経済のしくみ 環境マネジメントと岩手大学	平成28年4月 准教授から教授に昇格。 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	准教授	江原勝行(44)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 憲法					地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 憲法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28)
兼任	准教授	河合壘(40)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 憲法 現代の諸問題						
兼任	准教授	西牧正義(49)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(総則)Ⅰ 民法(総則)Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 市民生活と法	兼任	准教授	西牧正義(50)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 民法(総則)Ⅰ 民法(総則)Ⅱ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 特別研究 基礎ゼミナール 市民生活と法 現代社会をみる視角	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	准教授	深澤泰弘(39)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 市民生活と法	兼任	准教授	深澤泰弘(40)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 市民生活と法	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	准教授	藤本幸二(42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 基礎法A 基礎法B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 知的財産入門 知財ワークショップ 公共社会	兼任	准教授	藤本幸二(43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 基礎法A 基礎法B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 憲法 知的財産入門 知財ワークショップ 公共社会	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	准教授	杭田俊之(50)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 経済のしくみ						
兼任	准教授	齊藤彰一(46)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 経済のしくみ	兼任	准教授	齊藤彰一(47)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 経済のしくみ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	准教授	塚本善弘(47)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 国際開発と環境・貧困 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 現代社会の社会学	兼任	准教授	塚本善弘(48)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 国際開発と環境・貧困 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 基礎ゼミナール 現代社会の社会学 社会的人間論	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門B」削除。(28) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	准教授	寺崎正紀(43)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 物質の世界	兼任	准教授	寺崎正紀(44)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 物質の世界	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
兼任	准教授	中島清隆(41)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境政策論Ⅰ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 持続可能なコミュニティづくり実践学 地元の企業に学ぶESD 環境マネジメント実践学	兼任	准教授	中島清隆(42)	平成28年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 環境政策論Ⅰ 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ 持続可能なコミュニティづくり実践学 地元の企業に学ぶESD 環境マネジメント実践学	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」削除。(28)
兼任	准教授	選考予定	平成29年4月	地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ					地域政策入門A 地域政策入門B 総合科学論Ⅰ 総合科学論Ⅱ	平成28年4月 授業内容に基づく担当教員数見直しのため「地域政策入門A」「地域政策入門B」削除。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	松岡洋子(55)	平成28年4月	日本語教授法講義Ⅰ 日本語教授法講義Ⅱ 上級日本語A 上級日本語E 多文化コミュニケーションA 多文化コミュニケーションB 地域課題演習E 地域と国際社会	兼任	教授	松岡洋子(57)	平成28年4月	日本語教授法講義Ⅰ 日本語教授法講義Ⅱ 上級日本語A 上級日本語E 多文化コミュニケーションA 多文化コミュニケーションB 地域課題演習E 地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28)
兼任	教授	上瀧龍也(52)	平成29年4月	スポーツ科学実験・実習	兼任	教授	上瀧龍也(53)	平成28年4月	スポーツ科学実験・実習 健康・スポーツA 健康・スポーツC	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	教授	鎌田安久(59)	平成29年4月	運動生理学						
兼任	教授	清水茂幸(55)	平成29年4月	コーティング論 バイオメカニクス						
兼任	教授	藪 敏裕(58)	平成28年4月	漢文学概論 漢文学講義 上級日本語G 地域課題演習D	兼任	教授	藪 敏裕(58)	平成28年4月	漢文学概論 漢文学講義 上級日本語G 地域課題演習D	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	教授	藪谷 取(63)	平成29年4月	彫刻基礎 造形実習(彫刻)A 造形実習(彫刻)B 造形実習(彫刻)C 造形実習(彫刻)D 造形実習(彫刻)E 造形実習(彫刻)F 造形演習(彫刻)A 造形演習(彫刻)B 造形演習(彫刻)C 造形演習(彫刻)D						
兼任	准教授	澤村省造(53)	平成29年4月	スポーツ科学実験・実習 健康づくり運動論 健康づくり運動実習 健康・スポーツC(シーズン)	兼任	准教授	澤村省造(53)	平成28年4月	スポーツ科学実験・実習 健康づくり運動論 健康づくり運動実習 健康・スポーツC(シーズン) 健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	准教授	金澤文緒(38)	平成29年4月	美術史入門 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ 美術史演習A 美術史演習B 美術史演習C 美術史演習D						
兼任	准教授	溝口昭彦(56)	平成29年4月	絵画基礎 造形実習(絵画)A 造形実習(絵画)B 造形実習(絵画)C 造形実習(絵画)D 造形実習(絵画)E 造形実習(絵画)F 造形演習(絵画)A 造形演習(絵画)B 造形演習(絵画)C 造形演習(絵画)D						
兼任	教授	立身政信(64)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	立身政信(64)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28)
兼任	講師	タミ マサノブ 立身 政信(65)	平成29年4月	初年次自由ゼミナール 健康管理論	兼任	講師	タミ マサノブ 立身 政信(65)	平成29年4月	初年次自由ゼミナール 健康管理論	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29) 平成29年4月 担当者自己都合により辞退、29年度より別の教員に変更。(29)
兼任	講師	アサノ ロバートケン ASANO ROBERT KEN(46)	平成28年4月	課題解決型国際研修(英語) 英語総合Ⅱ(初級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	兼任	講師	アサノ ロバートケン ASANO ROBERT KEN(47)	平成28年4月	課題解決型国際研修(英語) 英語総合Ⅱ(初級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級) 英語発展H	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	健康障害と予防						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	健康障害と予防						
兼任	講師	高橋一男(55)	平成30年4月	スポーツトレーナー実習						
兼任	講師	高橋光彦(66)	平成30年4月	スポーツ政策論						
兼任	講師	ブレア ベンジンヤミン Blair Benjamin Reed(48)	平成28年4月	アカデミック・イングリッシュⅠ アカデミック・イングリッシュⅡ 英語コミュニケーション発展Ⅰ 英語コミュニケーション発展Ⅱ 英語コミュニケーション実践Ⅰ 英語コミュニケーション実践Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	兼任	講師	ブレア ベンジンヤミン Blair Benjamin Reed(49)	平成28年4月	アカデミック・イングリッシュⅠ アカデミック・イングリッシュⅡ 英語コミュニケーション発展Ⅰ 英語コミュニケーション発展Ⅱ 英語コミュニケーション実践Ⅰ 英語コミュニケーション実践Ⅱ 英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(28)
兼任	講師	小川修平(45)	平成29年4月	パワーアップ・イングリッシュA パワーアップ・イングリッシュB						

設置時の計画				変更状況				備 考		
専任・兼任・兼任の別	職位	氏 名 (年 齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏 名 (年 齢)		就任年月日	担当授業科目名
兼任	講師	熊本哲也 (57)	平成28年4月	フランス語コミュニケーション発展A フランス語コミュニケーション発展B 初級フランス語(入門)	兼任	講師	熊本哲也 (58)	平成28年4月	フランス語コミュニケーション発展A フランス語コミュニケーション発展B 初級フランス語(入門)	平成29年4月 ネイティブ教員に変更のため「フランス語コミュニケーション発展B」削除。(29) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	講師	柳沢文昭 (67)	平成29年4月	フランス文化論講義A	兼任	講師	柳沢文昭 (67)	平成29年4月	フランス文化論講義A 初級フランス語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(29)
兼任	講師	海老澤君夫 (70)	平成29年4月	総合ドイツ語A 総合ドイツ語B 総合ドイツ語C	兼任	講師	海老澤君夫 (70)	平成28年4月	総合ドイツ語A 総合ドイツ語B 総合ドイツ語C 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28) 平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除(29)
兼任	講師	大嶋由美 (50)	平成29年4月	ドイツ語コミュニケーション発展A ドイツ語コミュニケーション発展B ドイツ語コミュニケーション発展C	兼任	講師	大嶋由美 (50)	平成28年4月	ドイツ語コミュニケーション発展A ドイツ語コミュニケーション発展B ドイツ語コミュニケーション発展C 初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	講師	コロボフ Dmitriy (37)	平成28年4月	ロシア語コミュニケーション実践D ロシア語コミュニケーション実践E ロシア語コミュニケーション実践F ロシア語作文 初級ロシア語(発展) 中級ロシア語	兼任	講師	コロボフ Dmitriy (38)	平成28年4月	ロシア語コミュニケーション実践D ロシア語コミュニケーション実践E ロシア語コミュニケーション実践F ロシア語作文 ロシア語コミュニケーション発展A 初級ロシア語(発展) 中級ロシア語 初級ロシア語(入門)	平成29年4月 「ロシア語コミュニケーション発展A」追加。(29) 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28)
兼任	講師	長野俊一 (67)	平成29年4月	ロシア文学・文化論講義 ロシア文学・文化論演習A ロシア文学・文化論演習B ロシア文学・文化論演習C	兼任	講師	長野俊一 (67)	平成29年4月	ロシア文学・文化論講義 ロシア文学・文化論演習A ロシア文学・文化論演習B ロシア文学・文化論演習C	平成29年4月 担当者自己都合により辞退、29年度より別の教員に変更。(29)
兼任	講師	八木光則 (64)	平成29年4月	考古学講義A 考古学講義B 考古学各論A 考古学各論B						
兼任	講師	砂山稔 (70)	平成29年4月	中国思想史講義 I 中国思想史講義 II 中国思想史特講A 中国思想史特講B	兼任	講師	砂山稔 (70)	平成28年4月	中国思想史講義 I 中国思想史講義 II 中国思想史特講A 中国思想史特講B 中国の文学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加(28)
兼任	講師	福本郁子 (50)	平成29年4月	中国文学講義 I 中国文学講義 II 中国文学特講A 中国文学特講B						
兼任	講師	藤本灯 (35)	平成29年4月	日本語学特講C						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	日本語学特講D						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	日本史特講D						
兼任	講師	岡安慎之 (40)	平成29年4月	日本思想史特講C						
兼任	講師	井上岳彦 (38)	平成30年4月	アジア史特講D アジア史特講E						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	日本文学特講C						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	中国語学特講A 中国語学特講B						
兼任	講師	辻野稔哉 (53)	平成29年4月	現代文化特講A						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	現代文化特講B						
兼任	講師	堀内正人 (68)	平成30年4月	造形演習(応用書法) II						
兼任	講師	白藤淳一 (35)	平成29年4月	音楽理論 I 音楽理論 II						
兼任	講師	小熊律子 (70)	平成29年4月	造形実習(染織) I 造形演習(染織) I						
兼任	講師	佐々木貴子 (50)	平成29年4月	造形実習(染織) II 造形演習(染織) II						
兼任	講師	戸村茂樹 (65)	平成29年4月	造形実習(版画) I 造形演習(版画) I						
兼任	講師	田村靖樹 (63)	平成29年4月	造形実習(版画) II 造形演習(版画) II						
兼任	講師	金沢英徳 (51)	平成29年4月	造形実習(書芸) I 造形実習(書芸) II 造形演習(書芸) I 造形演習(書芸) II						
兼任	講師	行場次郎 (64)	平成30年4月	基礎心理学						
兼任	講師	阿部恒之 (56)	平成30年4月	応用心理学						
兼任	講師	辻本昌弘 (46)	平成30年4月	文化心理学						
兼任	講師	瀬川昌久 (60)	平成30年4月	文化人類学						
兼任	講師	佐藤 駿 (34)	平成29年4月	論理学						
兼任	講師	川原正広 (44)	平成28年4月	心理学通論 対人関係の心理学	兼任	講師	川原正広 (45)	平成29年4月	心理学通論 心理学基礎実験 対人関係の心理学	平成29年4月 受講生数を考慮し担当者を追加(29)
兼任	講師	高島浩一郎 (64)	平成30年4月	生理学特講						
兼任	講師	小林睦 (54)	平成29年4月	応用倫理学						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	心理療法論						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	現代社会論						
兼任	講師	早坂智佳 (52)	平成29年4月	心理学基礎実験						
兼任	講師	山崎剛信 (37)	平成29年4月	心理学基礎実験						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	漢文						
兼任	講師	遠藤隆 (60)	平成29年4月	メディア文化論特講A メディア文化論特講B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	講師	相原優一(55)	平成29年4月	メディア文化論特講A						
兼任	講師	海老名勝宏(59)	平成29年4月	メディア文化論特講A						
兼任	講師	諏訪昌広(51)	平成29年4月	メディア文化論特講B						
兼任	講師	選考予定	平成29年4月	メディア文化論特講A						
兼任	講師	選考予定	平成29年4月	メディア文化論特講A						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	社会情報学特講A						
兼任	講師	選考予定	平成30年4月	社会情報学特講B						
兼任	講師	増田エレナ(37)	平成28年4月	初級ロシア語(入門) 中級ロシア語	兼任	講師	増田エレナ(38)	平成28年4月	初級ロシア語(入門) 中級ロシア語 初級ロシア語(発展) 総合ロシア語	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加(28) 平成29年4月 日本人教員からロシア語ネイティブ教員に変更することにより教育的効果が高まる。(29)
兼任	講師	山口春樹(63)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	兼任	講師	山口春樹(64)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展) ドイツ語コミュニケーション基礎	平成29年4月 日本人教員を配置し、より確実な文法知識に基づいたコミュニケーション能力の養成を図るため「ドイツ語コミュニケーション基礎」追加。(29)
兼任	講師	伊藤健宏(43)	平成29年4月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ						
					兼任	講師	吉原 秋(50)	平成29年4月	西洋史講義A 西洋史特講C	平成29年4月 教育内容を充実させるため、兼任教員を加えて実施

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	教授	アツヒロ 阿久津 洋巳 (63)	平成28年4月	心の理解	兼任	教授	アツヒロ 阿久津 洋巳 (64)	平成28年4月	心の理解	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	アツヒロ 阿久津 洋巳 (65)	平成30年4月	心の理解	兼任	講師	アツヒロ 阿久津 洋巳 (65)	平成30年4月	心の理解	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	アツマ リアキ 我妻 則明 (64)	平成28年4月	心の理解 心と表象	兼任	教授	アツマ リアキ 我妻 則明 (65)	平成28年4月	心の理解 心と表象	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	アツマ リアキ 我妻 則明 (65)	平成29年4月	心の理解 心と表象	兼任	講師	アツマ リアキ 我妻 則明 (66)	平成29年4月	心の理解 心と表象	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ウサミ コウセイ 宇佐美 公生 (59)	平成28年4月	倫理学の世界						
兼任	教授	エントウ マサトシ 遠藤 匡俊 (61)	平成28年4月	地域と生活						
兼任	教授	オノ マキオ 大野 真男 (61)	平成28年4月	上級日本語H 言葉の世界	兼任	教授	オノ マキオ 大野 真男 (62)	平成28年4月	上級日本語H 言葉の世界	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	カダ コウイチ 川田 浩一 (50)	平成28年4月	教理のひろがり	兼任	教授	カダ コウイチ 川田 浩一 (50)	平成28年4月	教理のひろがり	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	カノ フミオ 菅野 文夫 (60)	平成28年4月	アジアの思想と文化 日本の歴史と文化 アジアの歴史と文化	兼任	教授	カノ フミオ 菅野 文夫 (61)	平成28年4月	アジアの思想と文化 日本の歴史と文化 アジアの歴史と文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	キチ サトル 菊地 悟 (58)	平成28年4月	上級日本語D						
兼任	教授	クイ 勉アキ 武井 隆明 (63)	平成28年4月	自然のしくみ 図書館への招待	兼任	教授	クイ 勉アキ 武井 隆明 (63)	平成28年4月	自然のしくみ 図書館への招待	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	クイ 勉アキ 武井 隆明 (65)	平成30年4月	自然のしくみ 図書館への招待	兼任	講師	クイ 勉アキ 武井 隆明 (65)	平成30年4月	自然のしくみ 図書館への招待	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (64)	平成28年4月	地域と社会 自然災害と社会	兼任	教授	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成28年4月	地域と社会 自然災害と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成29年4月	地域と社会 自然災害と社会	兼任	講師	ドイ ノブオ 土井 宣夫 (65)	平成29年4月	地域と社会 自然災害と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ナゴシ ドユキ 名越 利幸 (60)	平成28年4月	三陸の研究	兼任	教授	ナゴシ ドユキ 名越 利幸 (60)	平成28年4月	三陸の研究	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ムキクラ テツ 妻倉 哲 (60)	平成28年4月	社会的人間論 現代社会の社会学	兼任	教授	ムキクラ テツ 妻倉 哲 (61)	平成28年4月	社会的人間論 現代社会の社会学	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	キチ ヒロシ 菊地 洋 (44)	平成28年4月	憲法						
兼任	准教授	シミズ ショウ 清水 将 (49)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツB	兼任	准教授	シミズ ショウ 清水 将 (49)	平成28年4月	健康・スポーツA 健康・スポーツB	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	ススマゴ コウジ 煤孫 康二 (64)	平成28年4月	芸術の世界	兼任	准教授	ススマゴ コウジ 煤孫 康二 (65)	平成28年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ススマゴ コウジ 煤孫 康二 (65)	平成29年4月	芸術の世界	兼任	講師	ススマゴ コウジ 煤孫 康二 (65)	平成29年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	ツチヤ アキヒロ 土屋 明広 (41)	平成28年4月	現代社会の社会学	兼任	准教授	ツチヤ アキヒロ 土屋 明広 (41)	平成28年4月	現代社会の社会学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	ホール ジェームズ HALL JAMES MERWETHER (41)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級)	兼任	准教授	ホール ジェームズ HALL JAMES MERWETHER (41)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	ホンダ 勉 本田 卓 (44)	平成28年4月	自然と教理の世界	兼任	准教授	ホンダ 勉 本田 卓 (45)	平成28年4月	教理のひろがり 自然と教理の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	准教授	ミツイ 勉ヒロ 三井 隆弘 (45)	平成28年4月	社会的人間論						
兼任	准教授	ヤスイ モユル 安井 もゆる (52)	平成28年4月	欧米の歴史と文化	兼任	准教授	ヤスイ モユル 安井 もゆる (53)	平成28年4月	欧米の歴史と文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	教授	ワキケケンイチ 押切 源一 (62)	平成28年4月	数理のひろがり	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	カンワラ ショウゴ 梶原 昌五 (58)	平成28年4月	動物と環境	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	イツツヒ ヒロコ 大塚 博彦 (55)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	ヤマギキ トモコ 山崎 友子 (64)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	ヨシ ヨウジ 吉井 洋二 (58)	平成28年4月	自然と数理	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	シバ ヨウコ 芝 陽子 (41)	平成28年5月	初年次自由ゼミナール	平成29年4月 新規採用教員に担当科目を追加 平成29年2月 AC教員審査済
兼任	教授	オダ イ 尾台 喜孝 (57)	平成28年4月	数理のひろがり						
兼任	教授	ナリタ シンヤ 成田 晋也 (47)	平成28年4月	科学技術						
兼任	教授	ニシザキ シゲル 西崎 滋 (61)	平成28年4月	宇宙のしくみ 地球環境と社会						
兼任	准教授	イシカキ ユウジ 石垣 剛 (45)	平成28年4月	宇宙のしくみ						
兼任	准教授	カワサキ ショウジ 川崎 秀二 (48)	平成28年4月	自然と数理						
兼任	准教授	チノ ミツル 素良 光紀 (42)	平成28年4月	自然と数理						
兼任	教授	ハナヒトシ 花見 仁史 (57)	平成28年4月	自然のしくみ						
兼任	教授	ヨシザワ マサト 吉澤 正人 (63)	平成28年4月	物質の世界						
兼任	講師	ヨシザワ マサト 吉澤 正人 (65)	平成30年4月	物質の世界						
兼任	教授	ウミテルキ 海田 輝之 (63)	平成28年4月	都市と環境						
兼任	講師	ウミテルキ 海田 輝之 (65)	平成30年4月	都市と環境						
兼任	教授	ナカガワ ヒロシ 中澤 廣 (63)	平成28年4月	廃棄物と環境						
兼任	講師	ナカガワ ヒロシ 中澤 廣 (65)	平成30年4月	廃棄物と環境						
兼任	准教授	オノノラ ヒロキ 小野寺 英輝 (54)	平成28年4月	岩手大学ミュージアム学 科学・技術と現代社会						
兼任	准教授	ヤマモト ヒロカズ 山本 英和 (49)	平成28年4月	くらしと科学技術						
兼任	教授	デトヒデアキ 出戸 秀明 (64)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	講師	デトヒデアキ 出戸 秀明 (65)	平成29年4月	情報基礎						
兼任	准教授	ヤマガチ アキラ 山口 明 (51)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	ミヨシ タスク 三好 扶 (43)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	タイネウ マサヒロ 大坊 真洋 (50)	平成28年4月	情報基礎						
兼任	准教授	ツツサワ フミ 立澤 文見 (48)	平成28年4月	植物栽培と環境テクノロジー						
兼任	教授	カワイ シゲナオ 河合 成直 (59)	平成28年4月	水と環境	兼任	教授	カワイ シゲナオ 河合 成直 (59)	平成28年4月	水と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ニシヤマ ケンイチ 西山 賢一 (50)	平成28年4月	生命のしくみ	兼任	教授	ニシヤマ ケンイチ 西山 賢一 (50)	平成28年4月	生命のしくみ	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
					兼任	准教授	ツカモト ナケン 塚本 知玄 (58)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	タテノ タカヒロ 立石 貴浩 (55)	平成28年4月	生命のしくみ	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	講師	マツキ(サトウ)サワコ 松木(佐藤)佐和子 (40)	平成28年4月	「環境」を考える	兼任	講師	マツキ(サトウ)サワコ 松木(佐藤)佐和子 (40)	平成28年4月	「環境」を考える	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	准教授	イトウ サチ 伊藤 幸男 (45)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	セキノ ノボル 関野 登 (57)	平成28年4月	森林と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ヤマモト キヨタツ 山本 清龍 (44)	平成28年4月	「環境」を考える	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	教授	ヒロタ ジュンイチ 廣田 純一 (61)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	ヒロタ ジュンイチ 廣田 純一 (62)	平成28年4月	地域課題演習C 地域課題演習H 初年次自由ゼミナール 現代の諸問題	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	キノタ ユキオ 木下 幸雄 (45)	平成28年4月	水と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ハマカミ クニヒコ 濱上 邦彦 (35)	平成28年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	オカノ リュウキ 田中 教幸 (63)	平成28年4月	地域課題演習H	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	教授	サノ ヒロキ 佐野 宏明 (61)	平成28年4月	動物と環境 環境の科学	兼任	教授	サノ ヒロキ 佐野 宏明 (61)	平成28年4月	動物と環境 環境の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	准教授	オダ シンイチ 小田 伸一 (58)	平成28年4月	人の暮らしと生物環境						
兼任	准教授	マツハラ カズエイ 松原 和衛 (59)	平成28年4月	生命のしくみ						
兼任	教授	ツイキ ミキノ 築城 幹典 (57)	平成28年4月	情報基礎	兼任	教授	ツイキ ミキノ 築城 幹典 (58)	平成28年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ゴリョウ マサブ 御領 政信 (63)	平成28年4月	生命のしくみ 自然の科学	兼任	教授	ゴリョウ マサブ 御領 政信 (63)	平成28年4月	生命のしくみ 自然の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ゴリョウ マサブ 御領 政信 (65)	平成30年4月	生命のしくみ 自然の科学	兼任	講師	ゴリョウ マサブ 御領 政信 (65)	平成30年4月	生命のしくみ 自然の科学	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
					兼任	教授	キサキ ケイイチロウ 木崎 景一郎 (50)	平成28年4月	動物と環境	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	教授	サワグチ イサオ 澤口 勇雄 (63)	平成28年4月	森林と環境	兼任	教授	サワグチ イサオ 澤口 勇雄 (63)	平成28年4月	森林と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	サワグチ イサオ 澤口 勇雄 (65)	平成30年4月	森林と環境	兼任	講師	サワグチ イサオ 澤口 勇雄 (65)	平成30年4月	森林と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
					兼任	教授	サウ イタル 佐藤 至 (54)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	教授	ワキノ ヒロシ 脇野 博 (61)	平成28年4月	科学と技術の歴史 地域課題演習A 地域課題演習B 地域課題演習C 地域課題演習H	兼任	教授	ワキノ ヒロシ 脇野 博 (62)	平成28年4月	科学と技術の歴史 地域課題演習A 地域課題演習B 地域課題演習C 地域課題演習H 図書館への招待 キャリアを考える 現代の諸問題 地域を考える	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加
兼任	教授	スカウラ エツコ 菅原 悦子 (62)	平成28年4月	生活と環境	兼任	教授	スカウラ エツコ 菅原 悦子 (62)	平成28年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	スカウラ エツコ 菅原 悦子 (65)	平成31年4月	生活と環境	兼任	講師	スカウラ エツコ 菅原 悦子 (65)	平成31年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	ヒヤネ アキラ 比屋根 哲 (58)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	ヒヤネ アキラ 比屋根 哲 (58)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	教授	オオカワ カズキ 大川 一毅 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	教授	オオカワ カズキ 大川 一毅 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール 大学の歴史と現在	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	准教授	ホリタ 久美 (56)	平成28年4月	社会的人間論 地域課題演習G	兼任	准教授	ホリタ 久美 (57)	平成28年4月	現代社会の社会学 社会的人間論 地域課題演習G	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除
兼任	准教授	タチハラ セイコ 立原 聖子 (41)	平成28年4月	心の理解						
兼任	准教授	ハヤカ ヒロシ 早坂 浩志 (51)	平成28年4月	心の理解						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	准教授	イマイ ジュン 今井 潤 (51)	平成28年4月	情報基礎 地場産業・企業論	兼任	教授 准教授	イマイ ジュン 今井 潤 (52)	平成28年4月	地域課題演習B 情報基礎 地場産業・企業論	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 准教授から教授に昇任(兼任のため教員審査省略)
兼任	准教授	アンデス カールキビスト Anders Carlqvist (48)	平成28年4月	日本事情A 日本事情B	兼任	准教授	アンデス カールキビスト Anders Carlqvist (49)	平成28年4月	海外研修—世界から地域を考える— 地域課題演習E 日本事情A 日本事情B 上級日本語C 上級日本語G 英語で学ぶ日本の文化	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	准教授	エトモ リエ 江本 理恵 (45)	平成28年4月	大学の歴史と現在 地域を考える	兼任	准教授	エトモ リエ 江本 理恵 (46)	平成28年4月	大学の歴史と現在 地域を考える 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加
兼任	准教授	オナカ(カシマ)ナツミ 尾中(高島)夏美 (58)	平成28年4月	地域課題演習F 英語で学ぶ日本の文化 海外研修—世界から地域を考える—	兼任	准教授	オナカ(カシマ)ナツミ 尾中(高島)夏美 (59)	平成28年4月	地域課題演習F 英語で学ぶ日本の文化 海外研修—世界から地域を考える— キャリアを考える 現代の諸問題 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加
兼任	講師	マークデュボア Mark de Boer (51)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	兼任	講師	マークデュボア Mark de Boer (51)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅱ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ヤギ イチマサ 八木 一正 (66)	平成28年4月	自然と法則	兼任	講師	ヤギ イチマサ 八木 一正 (66)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	イシカワ ヘギー マリー Ishikawa Peggy Marrie (46)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級)						
兼任	講師	ウリアム オスカー ルイス ヨンセイ William Oscar Lewis IV (47)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	兼任	講師	ウリアム オスカー ルイス ヨンセイ William Oscar Lewis IV (47)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級) 英語総合Ⅰ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加
兼任	講師	エンドウ スサネ 遠藤 スサネ (46)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	兼任	講師	エンドウ スサネ 遠藤 スサネ (46)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	エンドウ マサコ 遠藤 雅子 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール キャリアを考える	兼任	講師	エンドウ マサコ 遠藤 雅子 (56)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール キャリアを考える	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	カウ カン 加藤 隆 (62)	平成28年4月	初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)						
兼任	講師	カウ リエ 加藤 理恵 (44)	平成28年4月	上級日本語B 上級日本語C 上級日本語F 上級日本語G	兼任	講師	カウ リエ 加藤 理恵 (44)	平成28年4月	上級日本語B 上級日本語C 上級日本語F 上級日本語G	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	カガ キンカ 亀田 金花 (50)	平成28年4月	初級中国語(発展)						
兼任	講師	ギャビン ヤング GAVIN YOUNG (50)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(上級) 英語総合Ⅰ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)						
兼任	講師	ゴウ ケイシ 呉 恵敏 (57)	平成28年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語						
兼任	講師	ゴトウ(キダチ)アツコ 後藤(木立)厚子 (48)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	兼任	講師	ゴトウ(キダチ)アツコ 後藤(木立)厚子 (48)	平成28年4月	初年次自由ゼミナール	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	サウ ノブキ 佐藤 信幸 (64)	平成28年4月	英語基礎	兼任	講師	サウ ノブキ 佐藤 信幸 (65)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(初級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語基礎 英語総合Ⅰ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	講師	サウ リウイチ 佐藤 竜一 (57)	平成28年4月	日本の文学						
兼任	講師	シバタ サミ 柴田 聡美 (48)	平成28年4月	初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	兼任	講師	シバタ サミ 柴田 聡美 (49)	平成28年4月	初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ジョセフ アンアッカーホフ Joseph Allan Angerhofer (42)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅡ(中級) 英語コミュニケーションⅠ(初級)						
兼任	講師	タウンゼント サイモン Townsend Simon (45)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級)	兼任	講師	タウンゼント サイモン Townsend Simon (46)	平成28年4月	英語総合Ⅱ(上級) 英語発展H 英語コミュニケーションⅠ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(上級) 英語総合Ⅱ(中級) 英語発展E 英語発展F 英語発展G	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
兼任	講師	チェン ジョソ 崔 宰誠 (37)	平成28年4月	初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展)						
兼任	講師	チェン ジョソ 崔 在籍 (58)	平成28年4月	初級韓国語(入門) 初級韓国語(発展) 中級韓国語						
兼任	講師	チン セン 陳 騰 (44)	平成28年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
兼任	講師	ナカヤス ヲコ 中安 貴子 (59)	平成28年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語	兼任	講師	ナカヤス ヲコ 中安 貴子 (59)	平成28年4月	初級中国語(発展) 初級中国語(入門) 初級中国語(発展) 中級中国語	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ヒノ ユキコ 平野 ユキ子 (63)	平成28年4月	初級フランス語(入門)						
兼任	講師	ヤマモト セツコ 山本 勢津子 (59)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級) 英語総合 I (初級) 英語総合 II (初級)	兼任	講師	ヤマモト セツコ 山本 勢津子 (59)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級) 英語総合 I (初級) 英語総合 II (初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	コイ イク 横井 郁子 (54)	平成28年4月	初級フランス語(入門) 初級フランス語(発展)						
兼任	講師	イトウ エイロウ 伊東 栄志郎 (50)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)	兼任	講師	イトウ エイロウ 伊東 栄志郎 (51)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	エントウ カンジュ 遠藤 健樹 (35)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)						
兼任	講師	カケヤマ カズオ 影山 一男 (57)	平成28年4月	現代社会と経済						
兼任	講師	クワハシ トアキ 桑原 俊明 (59)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)						
兼任	講師	サイトウ トアキ 齋藤 俊明 (63)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	兼任	講師	サイトウ トアキ 齋藤 俊明 (63)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	サイトウ ナオキ 齋藤 直樹 (45)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)						
兼任	講師	サトウ トモコ 佐藤 智子 (63)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)						
兼任	講師	クニノエ イ 席 時宜 (62)	平成28年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展)						
兼任	講師	タカハシ ヒデユキ 高橋 秀行 (40)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	兼任	講師	タカハシ ヒデユキ 高橋 秀行 (41)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	タナカ ノブヒロ 田中 宣廣 (54)	平成28年4月	言葉の世界						
兼任	講師	チカゴ カズヒコ 筑後 勝彦 (55)	平成28年4月	英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級)						
兼任	講師	トヨシマ マサアキ 豊島 正幸 (64)	平成28年4月	いわて学 I いわて学 II						
兼任	講師	ニューベリー ダニエル コッランド Newbury Daniel Coeland	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語総合 II (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級)						
兼任	講師	ハラヤマ ジェームズ Franciscus James (51)	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	兼任	講師	ハラヤマ ジェームズ Franciscus James (52)	平成28年4月	英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除
兼任	講師	ネノコ エウミ 細越 久美子 (43)	平成28年4月	対人関係の心理学						
兼任	講師	ラセンス マルカム Larcens Malcome (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション II (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 初級フランス語(入門)						
兼任	講師	ルテラ デイヴィッド Rutella David Owen (51)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	兼任	講師	ルテラ デイヴィッド Rutella David Owen (52)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (上級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 英語コミュニケーション II (上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除・追加
兼任	講師	ルプサ コルネリア Daniela (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション II (上級) 英語コミュニケーション I (初級)						
					兼任	講師	アカサカ キャサリン Anne (47)	平成28年4月	英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ファー アラン FARR Alan (70)	平成28年4月	英語総合 II (初級) 英語コミュニケーション II (上級) 英語総合 I (初級) 英語総合 I (中級) 英語総合 II (中級) 英語総合 I (上級) 英語コミュニケーション I (初級) 英語コミュニケーション II (初級) 英語コミュニケーション I (中級) 英語コミュニケーション II (中級) 英語コミュニケーション I (上級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	カワタ ヒロキ 河田 裕樹 (67)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ヨシムラ ヤスキ 吉村 泰樹 (67)	平成28年4月	自然と法則	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ミヤガワ ヨウイチ 宮川 洋一 (52)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	講師	ミウラ イサオ 三浦 勲夫 (76)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅡ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語総合Ⅰ(上級) 英語コミュニケーションⅠ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加・削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ミウラ ヤスヒデ 三浦 康秀 (67)	平成28年4月	数理のひろがり	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ヤマダ ミスズ 山田 美鈴 (40)	平成28年4月	生命のしくみ	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	コヤマ ハナコ 小山 花子 (42)	平成28年4月	市民と政治 現代政治を見る眼	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	コイケ ショウジ 小出 章二 (49)	平成28年4月	生活と環境	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	コバヤシ ナホ 小林 徳子 (67)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	マツダ テアツコ 松館 敦子 (54)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	スマタシル 沼田 稔 (73)	平成28年4月	自然と教養	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	スキウラ タツシ 杉浦 直 (71)	平成28年4月	地域と生活 地域と社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ホシノ カツシ 星野 勝利 (72)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語総合Ⅰ(上級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ムラカミ タスク 村上 祐 (71)	平成28年4月	科学と技術の歴史	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	オオカ ヒサエ 大高 久枝 (59)	平成28年4月	上級日本語H 上級日本語C 上級日本語G	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	オオカミ ハルコ 大上 治子 (67)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級) 英語発展B 英語発展C	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ナカニシ カチロ 中西 貴裕 (46)	平成28年4月	情報基礎	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ノケイ子 能登 恵一 (70)	平成28年4月	初級ドイツ語(入門) 初級ドイツ語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	トナリ ヨウコ 富永 陽子 (44)	平成28年4月	生命のしくみ 初年次自由ゼミナール	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を削除 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	ヒライ ハナコ 平井 華代 (42)	平成28年4月	海外研修ー世界から地域を考えるー 地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加 平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ヒラノ セイチ 平野 清八 (68)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(中級) 英語総合Ⅱ(中級)	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	キタツメ イイチ 北爪 英一 (65)	平成28年4月	自然のしくみ	平成28年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	シノハラ コウジ 主演 祐二 (35)	平成28年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名 (年齢)	就任年月日	担当授業科目名	
					兼任	准教授	オガ タケシ 織田 健志 (38)	平成28年4月	日本の思想と文化 アジアの歴史と文化 市民と政治 現代政治を見る眼 初年次自由ゼミナール 心と意識	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ショート ケビン アンソニー Short Kevin Anthony (59)	平成29年4月	英語総合Ⅰ(初級) 英語総合Ⅱ(上級) 英語コミュニケーションⅡ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(中級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	マーハー パトリック ジェフリー Maher Patrick Jeffrey (33)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ(初級) 英語コミュニケーションⅡ(初級)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	サカタ イロウ 佐竹 一郎 (27)	平成29年4月	初級中国語(入門) 初級中国語(発展)	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	オサナイ ツトム 長内 努 (59)	平成29年4月	芸術の世界	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	ヤマザキ ケンジ 山崎 憲治 (70)	平成29年4月	地域課題演習C	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	イトウ ヒロキ 伊藤 博幸 (69)	平成29年4月	地域課題演習D	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	講師	イマタ マサル 猪又 優 (57)	平成29年4月	キャリアを考える 初年次自由ゼミナール 地域課題演習A	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	イヌマツ ヒロキ 石松 弘幸 (44)	平成29年4月	地域課題演習F	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	准教授	カミムラ サトシ 川村 暁 (42)	平成29年4月	情報基礎	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加
					兼任	教授	リュウ カイウ 劉 海宇 (46)	平成29年4月	地域と国際社会	平成29年4月 教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため科目を追加

5 教員組織の状況

＜人文社会科学部 人間文化課程＞

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
25	21	1	0	47	28	18	1	0	47	27	19	1	0	47
(28)	(19)	(1)	(0)	(48)						[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	西田文信	必修	人間文化入門	①	一身上の都合により辞任（29）			
			必修	人間文化研究	①				
			必修	総合科学論Ⅰ	①				
			必修	総合科学論Ⅱ	①				
			必修	特別研究	①				
			選択	課題解決型国際研修（中国）	③				
			選択	国際交流研修	①				
			選択	中国語基礎	③				
			選択	中国語学講義A	②				
			選択	中国語学講義B	③				
			選択	中国語学講義C	②				
			選択	中国語学講義D	③				
			選択	中国語学講義E	③				
			選択	中国語学講義F	③				
			選択	中国語学講読A	②				
			選択	中国語学講読B	③				
			選択	中国語学講読C	③				
			選択	中国語学講読D	③				
			選択	中国語学講読E	③				
			選択	中国語学講読F	③				
選択	中国語学演習A	③							
選択	中国語学演習B	③							
選択	中国語学演習C	③							
選択	中国語学演習D	③							
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	19 科目	選択	1 科目	選択	3 科目	選択	15 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	24 科目	計	6 科目	計	3 科目	計	15 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1 人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
	選択	19	科目	選択	1	科目	選択	3	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	24	科目	計	6	科目	計	3	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任にともなない、後任を選考中である。3科目は他に担当教員が複数いるため支障はない。3科目は兼任教員が担当し、それ以外の科目についても最初の開講が29年後期以降であるため、支障はない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		て	
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の～すること。	〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<人文社会科学部 人間文化課程>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 (全学) 教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】
 (人文社会科学部) 人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会 【規則：別添資料2】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 (全学) 7回（参加教員14人ほか事務職員2人）
 (人文社会科学部) 6回（参加教員6人ほか事務職員1人）

c 委員会の審議事項等
 (全学) FD実施計画, GPA, 学年暦, 卒業生・修了生アンケートについて審議
 (人文社会科学部) 学部・課程・専修プログラムレベルでの教育課程を改善するための調査・研究・提案, 個々の教員の教育活動の改善に資する支援, 教育の総合化および専門深化の推進, 学部レベルでのカリキュラムの開発・提案等について審議

② 実施状況

a 実施内容
 (全学)
 ・ 全学FD研修
 ・ 授業公開
 ・ 授業評価アンケート（前期, 後期各1回）の実施
 (人文社会科学部)
 ・ 人文社会科学部FD研修の実施
 ・ 人文社会科学部FD研修報告会の実施
 ・ 総合科学論の検討
 ・ 授業公開（専門科目）の実施（前期・後期各1回）

b 実施方法
 (全学) 教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上, 実施
 (人文社会科学部)
 ・ 参加希望の教員を募り, 他機関で開催される講演会およびセミナーを受講した。
 ・ 先進的な取り組みをしている大学に連絡を取り, 日時等の調整を行い, 視察に行った。
 ・ メール等で周知を行い, 学部教員を対象とした研修会および報告会を開催した。
 ・ 新任教員等へ総合科学論の内容および班所属についての説明を行い, 班編制を行った。
 ・ 教育推進機構をとおしてHPにて周知を行い, 授業公開（専門科目）を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（全学）全学FD研修（平成28年9月2日） 教員88名参加

（人文社会科学部）

- ・人文社会科学部FD研修（平成28年9月27日） 教員49名参加
- ・人文社会科学部FD研修（平成29年2月7日） 教員33名参加
- ・人文社会科学部FD研修（平成29年3月21日） 教員52名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

（全学）授業評価アンケート結果を踏まえ、教育推進機構教育推進連携部門において、改善事項の整理し、全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

（人文社会科学部）FD研修をとおして得た知識知見および技能等を学部教員へフィードバックする機会を設け、各課程で改善点の把握を行い、授業改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期に授業アンケートを実施（全学共通教育）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1年目は設置計画を着実に履行した。2年目も引き続き設置計画を履行する予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度 公表予定

b 公表方法

- ・平成28年度～平成30年度における設置計画の達成状況についての自己点検・評価を行い「自己点検・評価報告書」を作成して大学ホームページ上に公開予定（平成30年度中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 29年 7月)

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

(平成26年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関すること。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関すること。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関すること。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関すること。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関すること。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関すること。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関すること。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関すること。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

- 2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。
- 3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。
- 2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

- 第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

- 第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

- 第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

岩手大学人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会規則

(平成16年4月1日制定)

(設置)

第1条 岩手大学教授会通則第9条の規定に基づき、教授会に岩手大学人文社会科学部総合的ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、人文社会科学部の教育方法についての組織的な研究・研修を推進する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 人間文化課程から選出された教員 4名
- 二 地域政策課程から選出された教員 2名
- 三 教務委員会から選出された委員 1名

(任期)

第4条 前条第1号及び第2号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の半数以上の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

(専門委員会等の設置)

第8条 委員会が必要と認めた場合は、特定の事項について調査審議させるため、常置又は臨時の専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関して必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、事務部において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は委員会において別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成17年4月19日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に選出される委員の半数の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。